

# 点字編集システム（BESX2 版）マニュアル

## — 鹿児島県視聴覚障害者情報センター版 —

このマニュアルは鹿児島県視聴覚障害者情報センターで点訳する手順の基本的な流れを示したものです。BESX の詳しい説明については、BESX マニュアルを参照してください。

### — 目 次 —




最初にお願をひとつ …………… 1	※一括置換に校正記録をつけることが できます …………… 21
【校正全体に関する約束事】 …………… 1	※校正記録には点字入力ができます… 23
1. 点訳を始める前に …………… 2	（4）校正記録の取り消し …………… 24
2. 環境設定 …………… 3	【校正の際の約束事】 …………… 25
（1）ページレイアウトの設定（確認） …………… 3	（5）ファイルを上書き保存します… 25
（2）製作支援の設定 …………… 4	5. 校正が戻ってきたら…………… 26
編集画面の表示と通知…………… 4	（1）ファイルを開きます …………… 26
誤欄、正欄、備考欄の表示…………… 5	（2）校正表を表示させます …………… 27
校正一覧・下調べ一覧 …………… 6	6. 校正表を印刷する…………… 29
3. 点訳をします…………… 8	7. 下調べ表を印刷する …………… 31
（1）ファイル新規作成 …………… 8	8. 製作メモがあります…………… 32
（2）製作情報の設定 …………… 8	9. 注意！！ 校正記録等の移動は 「文書結合・分割」のみで…………… 35
（3）点訳を始めます…………… 9	10. まとめ…………… 36
（4）下調べ記録…………… 9	
【原本ページ入力の際の約束事】 …… 11	
《下調べ記録の一覧表示》 …………… 13	
（5）名前をつけてファイルを保存… 14	
（6）ファイルを閉じます …………… 14	
（7）ファイルを開きます …………… 15	
4. 校正をします…………… 17	
（1）ファイルを開きます …………… 17	
（2）設定（現在の校正回数）…………… 17	
（3）校正記録の追加 …………… 18	

## 最初にお願いをひとつ。

BESX では、下調べした箇所や、校正した箇所にマークといって、色をつけるようになっています。このマークの色はメニューの[設定]から変更できるようになっていますが、鹿児島県視聴覚障害者情報センターでは、原則として初期値のまま使います。

※ご自身のパソコンだけの設定になるので、好きな色を使ってもらってもかまわないのですが、このマニュアルを通して、また、今後の研修会を通して、以下の2色だけで説明していきます。ご自身混乱しなければ、好きな色に変更してもらってもかまいません。

鹿児島県視聴覚障害者情報センターで使うマークの色は

下調べ … グレー	
校正 … 赤	
一括置換 … 緑	

の3色です。

### 《校正全体に関する約束事》

BESX マニュアルでは、校正の中に[校正・点検・修正]などと別れていますが、鹿児島県視聴覚障害者情報センターでは[校正]のみで[修正]まで終わったことを示します。つまり赤いマークは修正まで済み、緑のマークは一括置換済みということを示します。

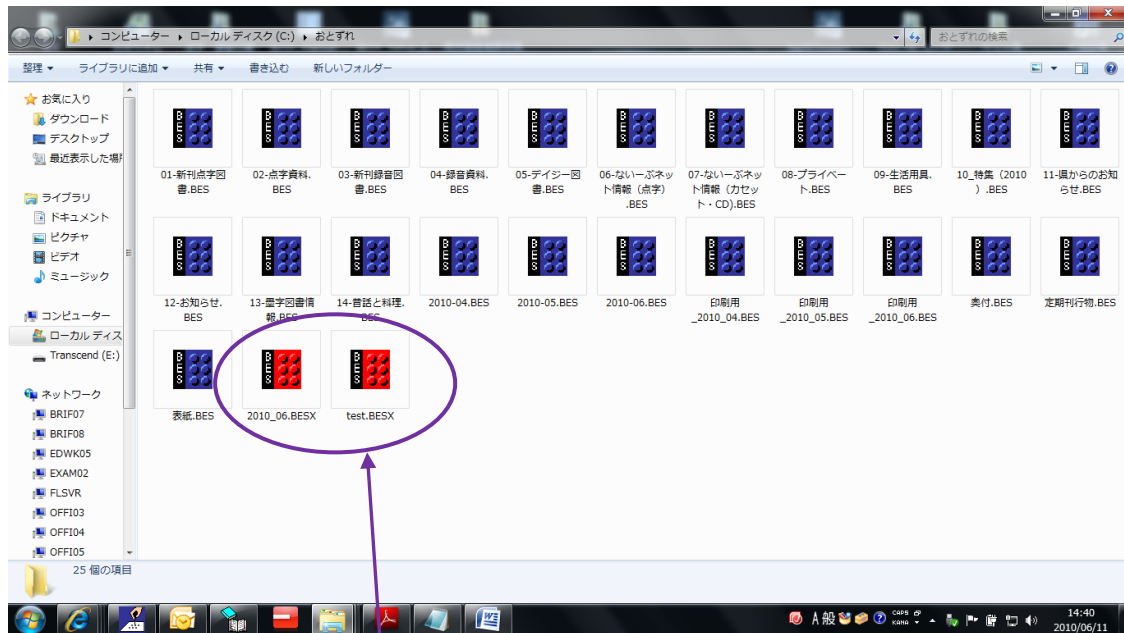
(注) マニュアルの画面に紫色の枠線で囲んだ楕円や矢印は、説明のためにマニュアル上で書き込んだものです。

## 1. 点訳を始める前に

BESX は BES ファイル校正情報・下調べ情報・製作メモが一緒になったファイルです。

BES ファイルの拡張子は .BES アイコンはブルー

BESX ファイルの拡張子 .BESX アイコンは赤



下の段の赤いアイコンが BESX ファイルです。

※ BESX ファイルを扱えるのは『点字編集システム (BESX 版)』のみです。

[製作支援]メニューは、ファイル新規作成か BESX ファイルを開いたときに表示されません。BES ファイルを開くと[製作支援]メニューはグレー表示されて選択できませんので、BES ファイルを開いた場合は、BESX ファイル形式で別名保存してから[製作支援]メニューを使います。

## 2. 環境設定

(1) ページレイアウトの設定(確認)をしてください。

・・・といっても、BESXをインストールしたときに初期値は32マス・18行両面で設定されています。最初に一度確認して、その後変更しなければ、その都度確認する必要はありません。

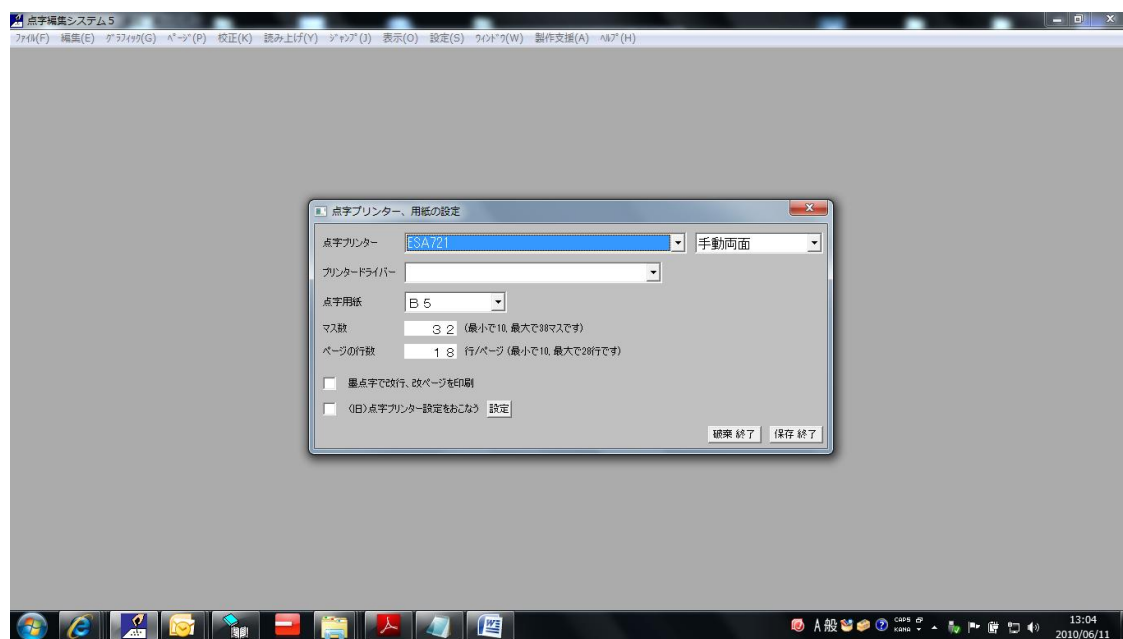
[設定]メニューより[プリンター、行・マス数設定]を選ぶと[点字プリンター、用紙の設定]ダイアログが表示されます。

点字プリンター ESA721 手動両面

点字用紙 B5

を選びます。

マス数・ページ行数は自動的に 32マス 18行になります。



### 【メモ】

点訳・校正作業の途中でページレイアウトを変更すると、下調べ記録や校正記録の点訳位置情報がずれる可能性がありますので注意してください。

## (2) 製作支援の設定

「製作支援」→「設定」

※BESXファイルが開いていないと「製作支援」がグレーになっています。新規作成するか、BESXファイルを開くかしてください。

「設定」では次の4つの設定ができます。

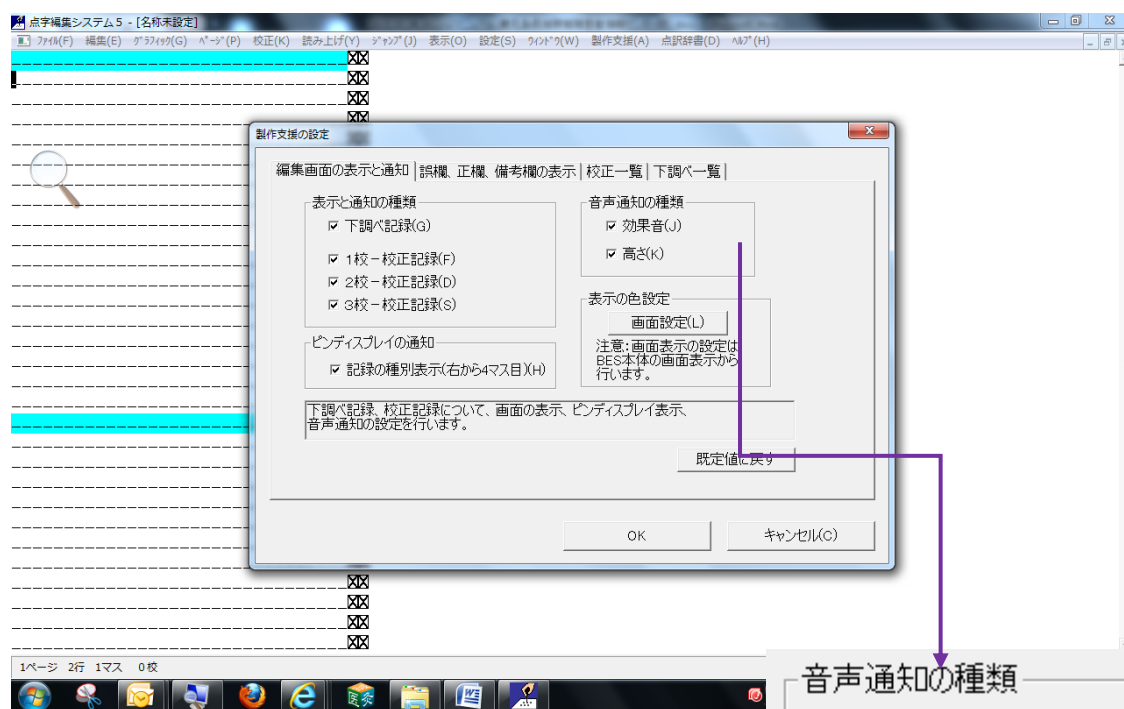
いずれも、一度設定してしまえば記憶しますので、何度も設定する必要はありません。  
(変更したい、と思うときにやり直すくらいです)

- ① 編集画面の表示と通知
- ② 誤欄、正欄、備考欄の表示
- ③ 校正一覧
- ④ 下調べ一覧

### 「編集画面の表示と通知」

初期値ではすべてにチェックが入っています。そのまま使ってもOKです。

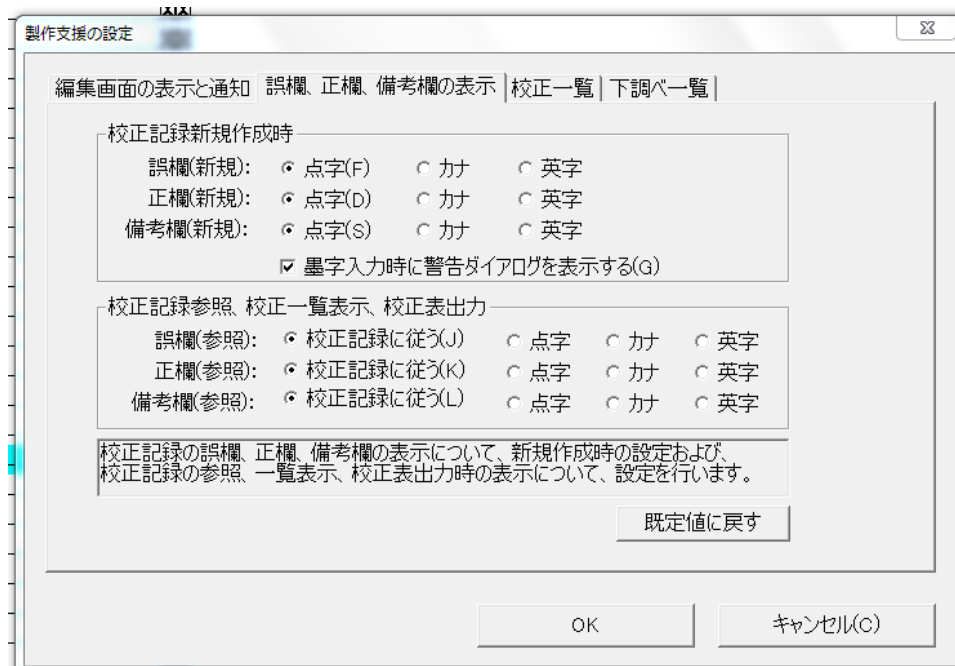
音声で校正するとき、校正記録・下調べ記録のあるところで効果音が[ピン][ポン]と鳴ります。効果音は要らないという場合は、このチェックを外してください。



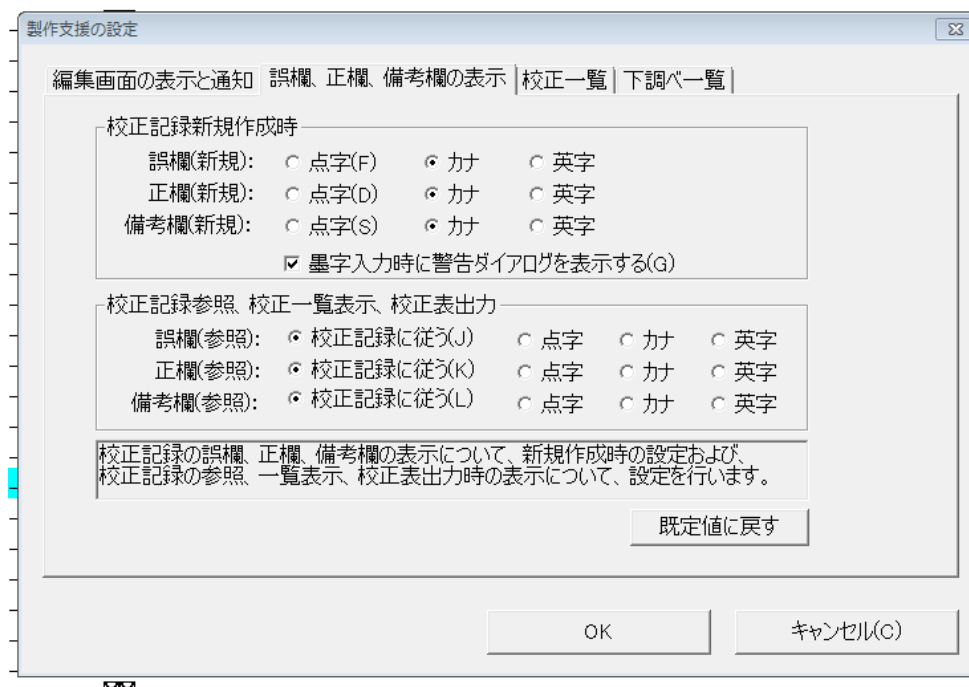
- 音声通知の種類
- 効果音(J)
  - 高さ(K)

## 「誤欄、正欄、備考欄の表示」

規定値は下記の通り「点字」「校正記録に従う」となっています。



校正記録新規作成時を「カナ」に、「校正記録参照、校正記録一覧、校正表出力」を「校正記録に従う」にしてください。

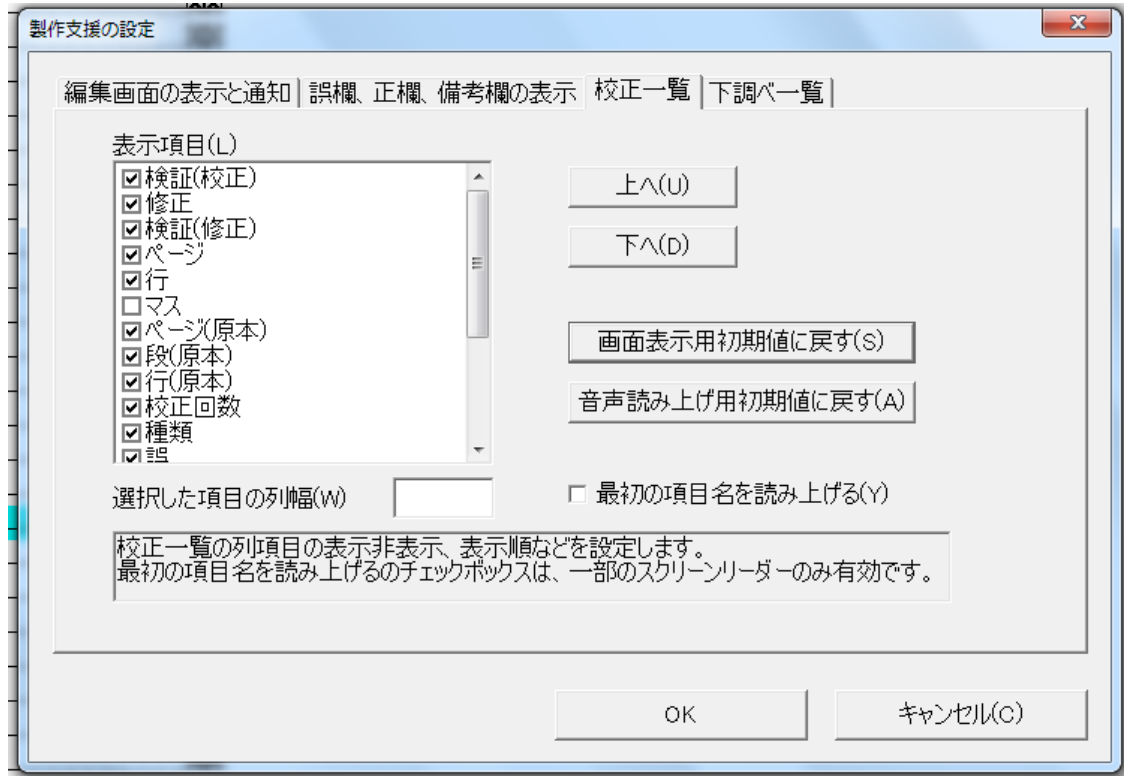


※校正記録を作成するときは、必要に応じて「カナ」「英字」にチェックをいれて表示を変えてください。

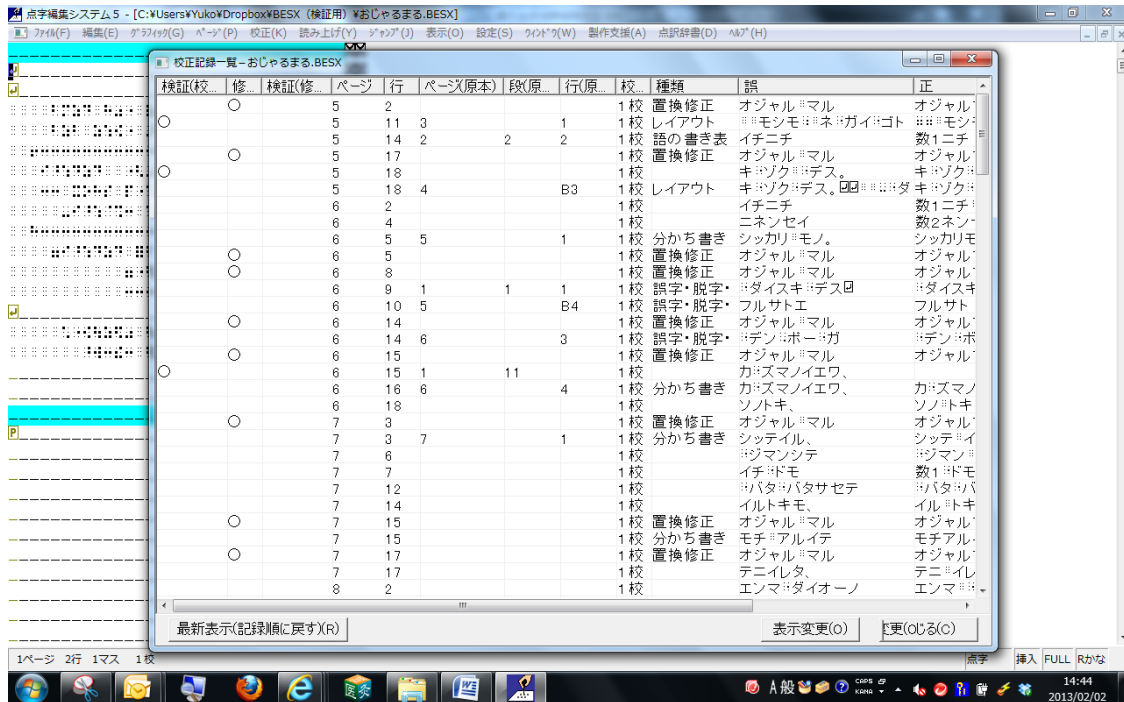
※BESX1 のデータは墨点字のまま表示されてしまいますが、そこは我慢！

## 「校正一覧」「下調べ一覧」

画面表示用初期値は以下の通りです。

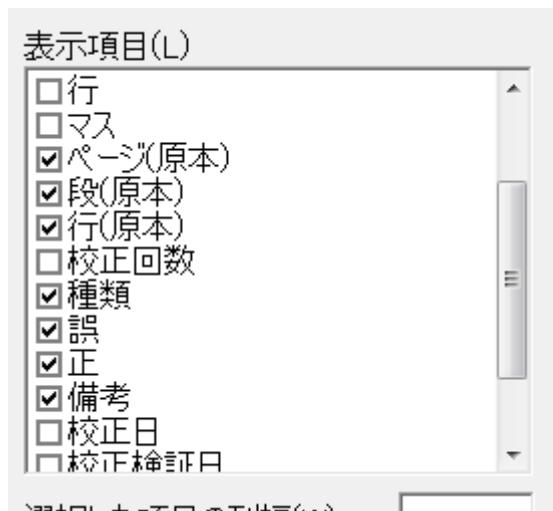


このまま校正記録一覧を表示させると・・・



こんな感じになります。

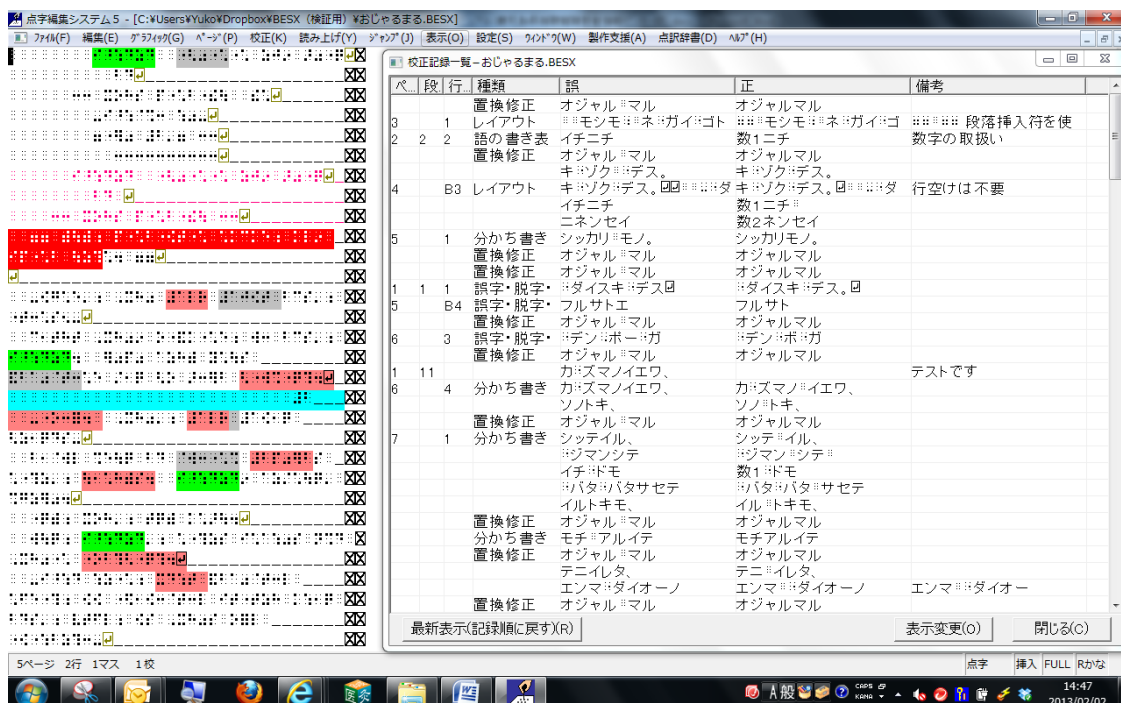
いらぬ項目のチェックを外して、幅を調整します。幅の調整は一覧を表示させてから、マウスで調整すると簡単です。最低これくらいは残すといひでしょう。(もっと多くの項目を表示させたい場合は、チェックをつけてください)



※左の設定では校正記録を追加したときに、並びが原本のページ番号降順になってしまうバグがあります。

この現象を回避するために、表示項目の中の一番上にある「検証(校正)」にチェックを入れ、「検証(校正)」という文字の部分をクリックすると青反転させ、下の方の「選択した項目の列幅」を「0」にしてください。(当面の回避策です)

幅をマウスで調整して、編集画面の邪魔にならないところに移動させればOKです。一度この作業をすると記憶しますので、次からはこの状態で校正一覧が開きます。



※下調べ記録も同じように設定します。

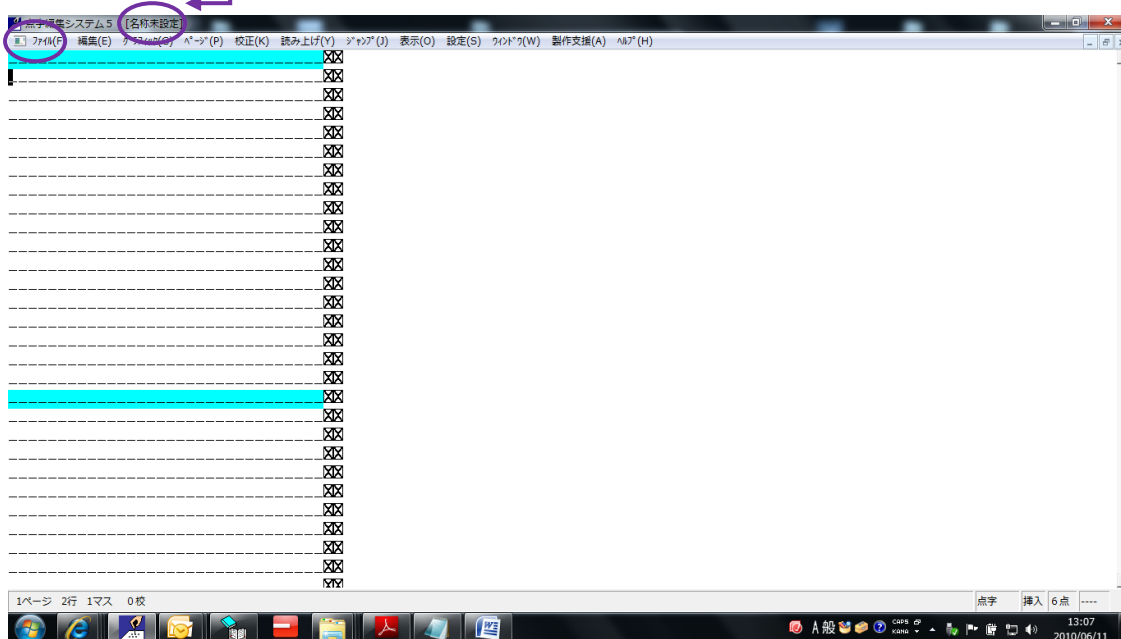


### 3. 点訳をします。

#### (1) ファイル新規作成

[ファイル]メニューより[新規作成]を選びます。

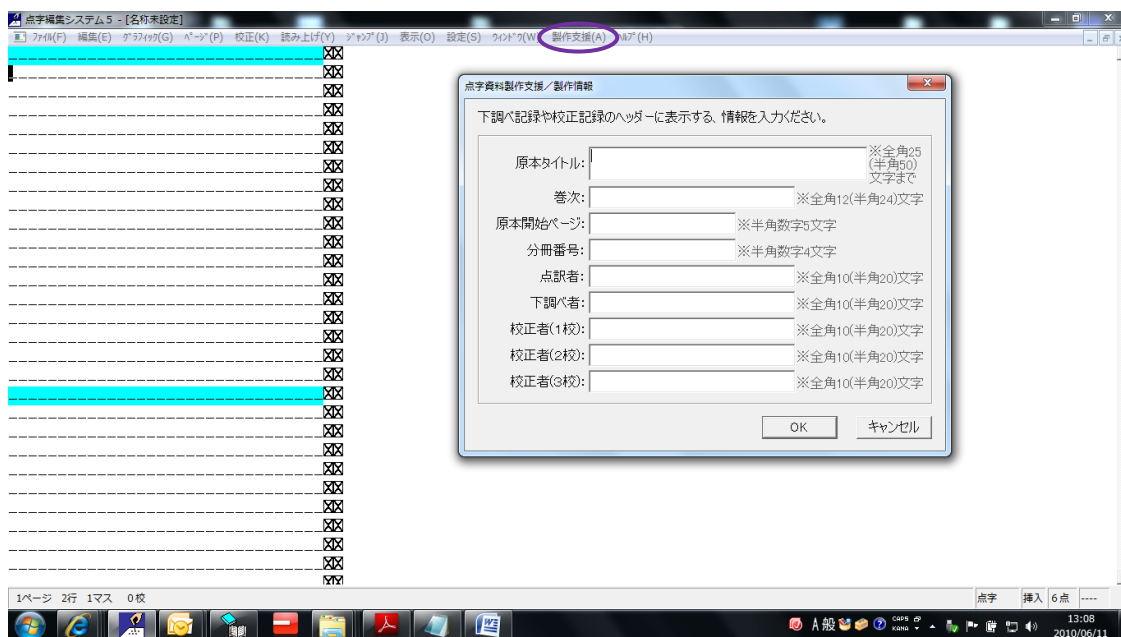
点字編集画面（タイトル[名称未設定]）が表示されます。



#### (2) 製作情報の設定

[製作支援]メニューより[設定]→[製作情報]を選びます。

[製作情報]ダイアログが表示されます。

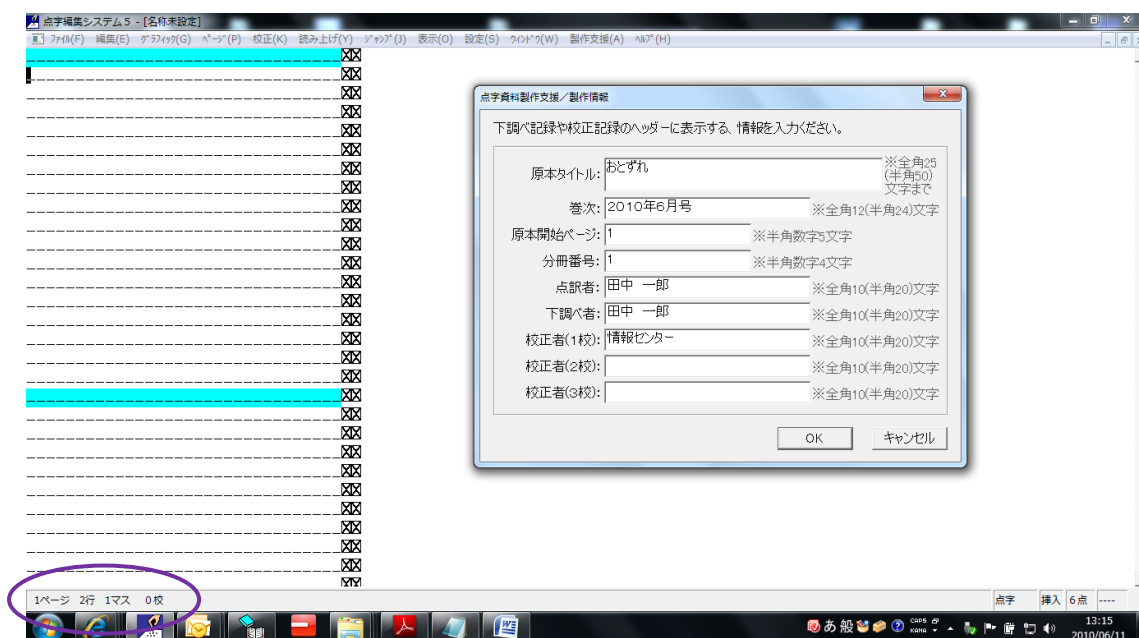


各項目に入力します。

- ①原本タイトル・巻次
- ②[原本開始ページ]は、その巻の開始ページを入れてください。（自動的に半角英数になります）
- ③[分冊番号]は第〇巻を入れてください。（自動的に半角英数になります）
- ④[点訳者]は点訳する人の名前を入れてください。
- ⑤[下調べ者]は、通常[点訳者]と同じです。下調べをした人の名前を入れてください。
- ⑥[校正者]は[情報センター]になります。

※無記名校正ですので、個人名を入れしないでください。

※[製作情報]で入力したこれらの項目は、下調べ表や校正表などに表示されることになります。



### (3) 点訳を始めます。

※画面左下に、現在の校正レベルが表示されています。

点訳のときには、[0校]となります。（自己校正は[0校]です）

### (4) 下調べ記録

点字編集システム上で下調べ結果を入力しBESXファイル内に保存することで、下調べ表を出力したり、校正作業時に容易に参照したりすることができます。

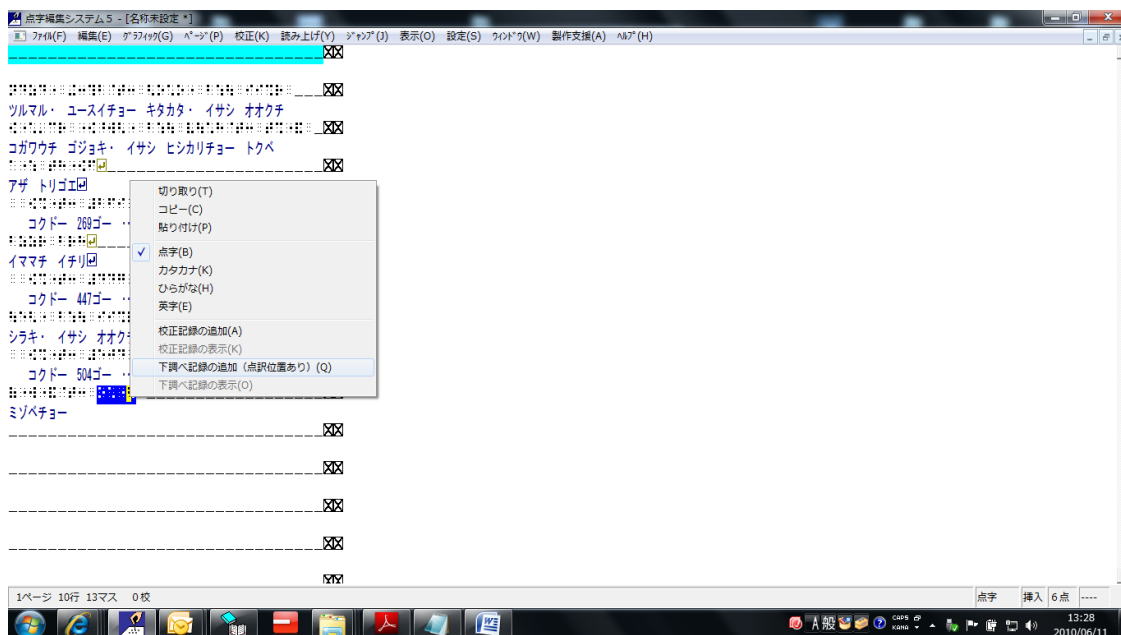
校正者が疑問に思った語句を[この語は調べたのかな?]&#x2D;はっきりしないので、また調べなければならない、ということを防ぐためです。お互いに、[この語句は調べました]ということが、はっきりわかるようにしましょう！（典拠を明記）

点字入力をしていながら、下調べをします。

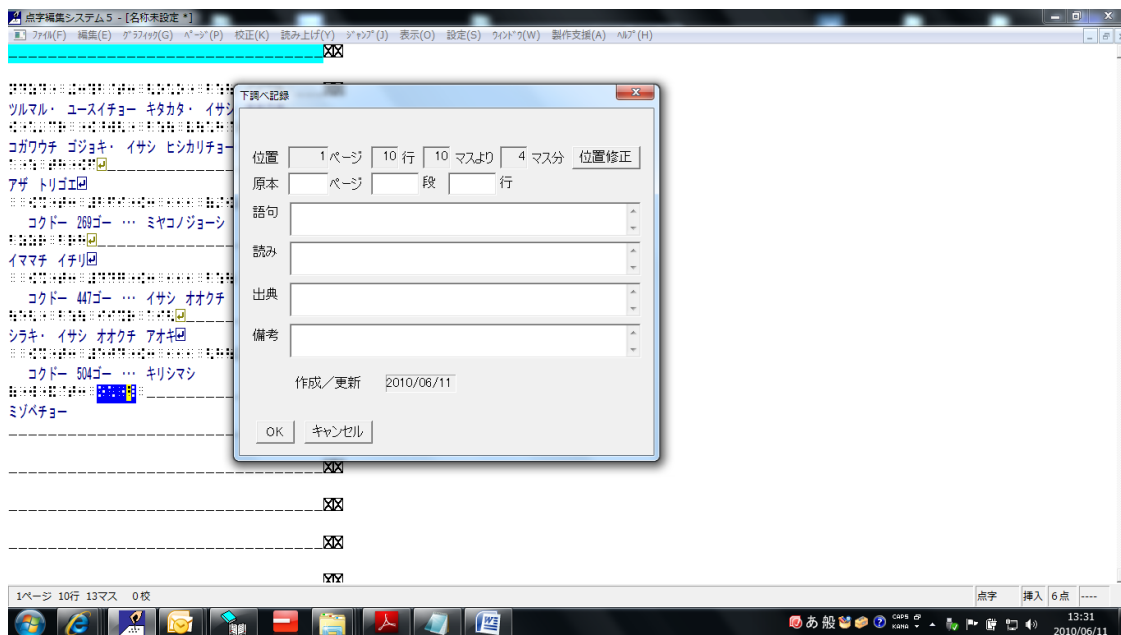
たとえば[霧島市溝辺町竹子]の[竹子]がわからなかった場合、インターネットなどで調べます。[タカゼ]と読むことがわかります。

[タカゼ]と点字入力したところで、[タカゼ]をマウスで範囲選択し（クリックしたまま、マウスをひっぱって青く反転させます）、[製作支援]メニューから[下調べ記録]→[下調べ記録の追加（点訳位置あり）]を選びます。

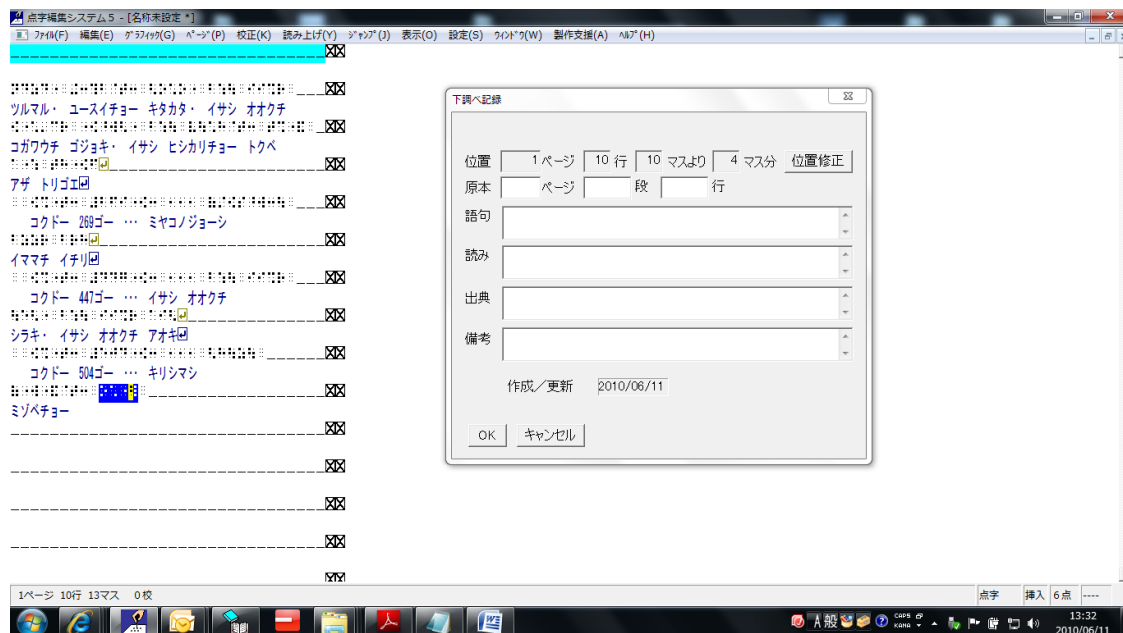
またはマークした箇所にマウスをおいて右クリックしてメニューを表示させます。



[下調べ記録]画面が表示されます。



[下調べ記録]のボックスの位置が点字編集画面と重なってしまっているときには、[下調べ記録]と書いたところにカーソルを置いて、そのまま好きなところに引っ張ってください。その位置を記憶しますので、次回からは移動したところに表示されます。



下調べ記録の中に、原本の位置、語句（漢字仮名交じりで）、読み（ひらがなでもカタカナでも）、出典（辞書名やインターネットなどを書き込みます。ここで書き込んだ内容が、下調べ記録として一覧表示されます。

「調べてもわからなかった」ということも記録しておいてください。

点訳さんの考えなのか、調べた読みなのかを判断するために。出典は必ず書いてください。

※原本の数字をいれるところは自動的に半角になります。

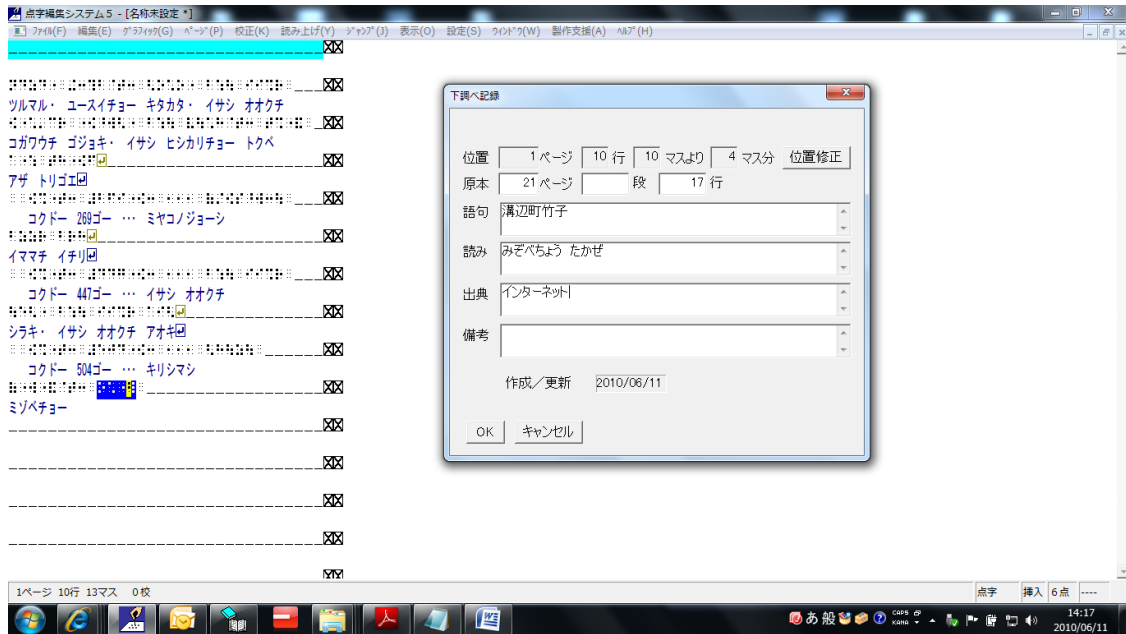
※段は上下のときには、上が[1] 下が[2]となります。

#### 《原本ページ入力の際の約束事》

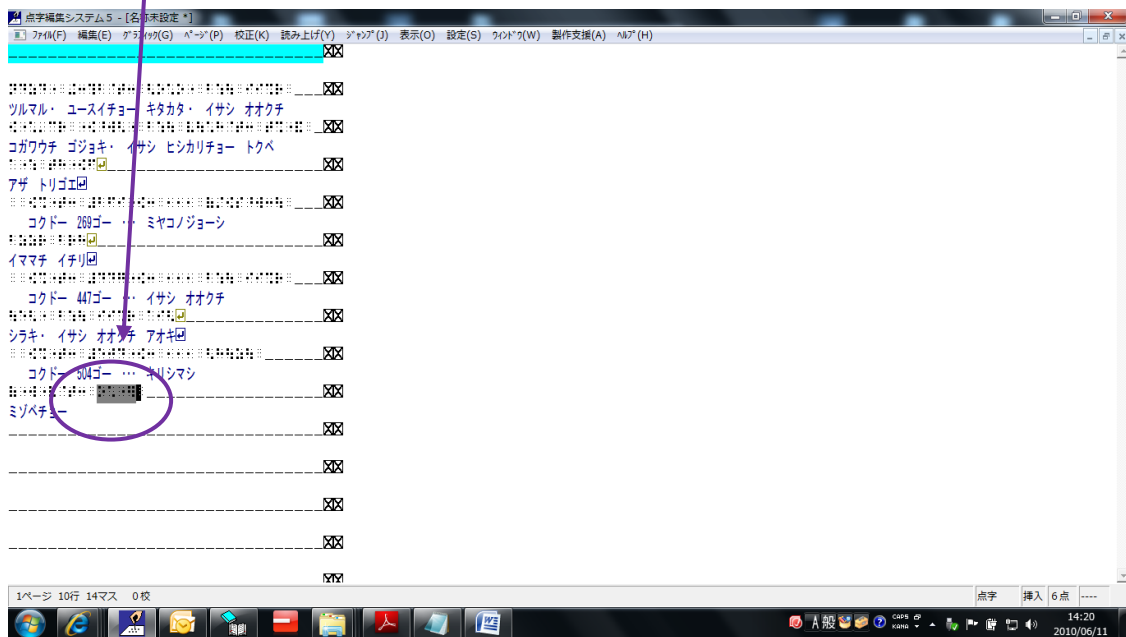
後ろから○行目としたいときには、[9]または[B]をつけてください。

たとえば後ろから3行目だったら[93]または[B3]となります。

行の順番に並べようとする、並び順が 91・92・93・・・となってしまうが、「最新表示（原本順に戻す）」をクリックすると、原本の順番に並びます。



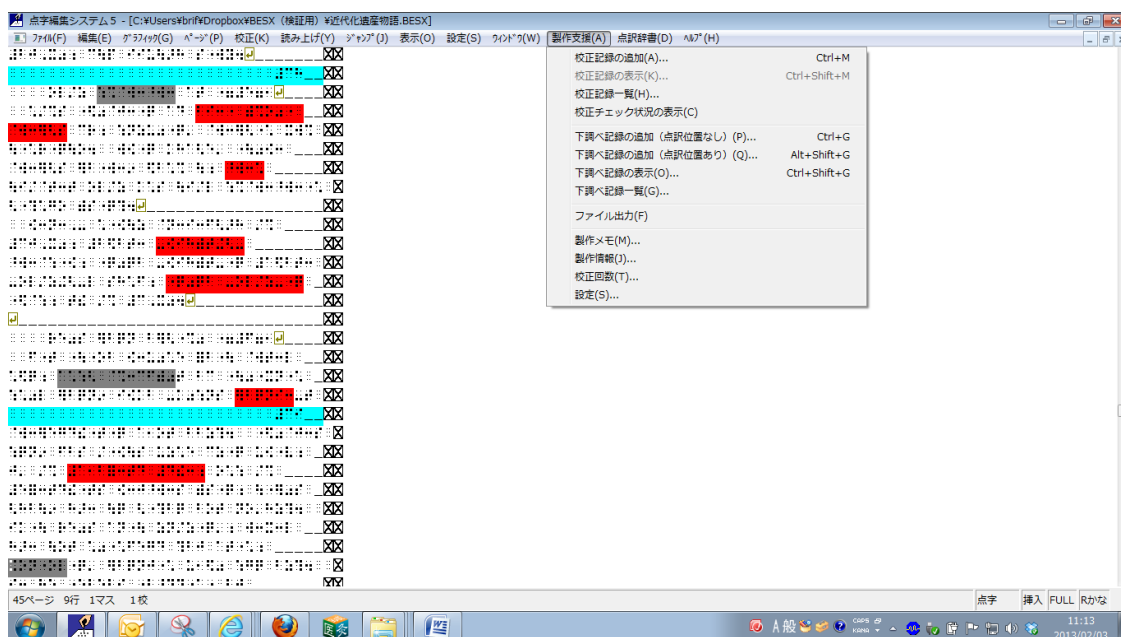
[OK]を押すと下調べ記録画面が閉じて、点字編集画面のみになります。下調べした語句がグレーにマークされています。



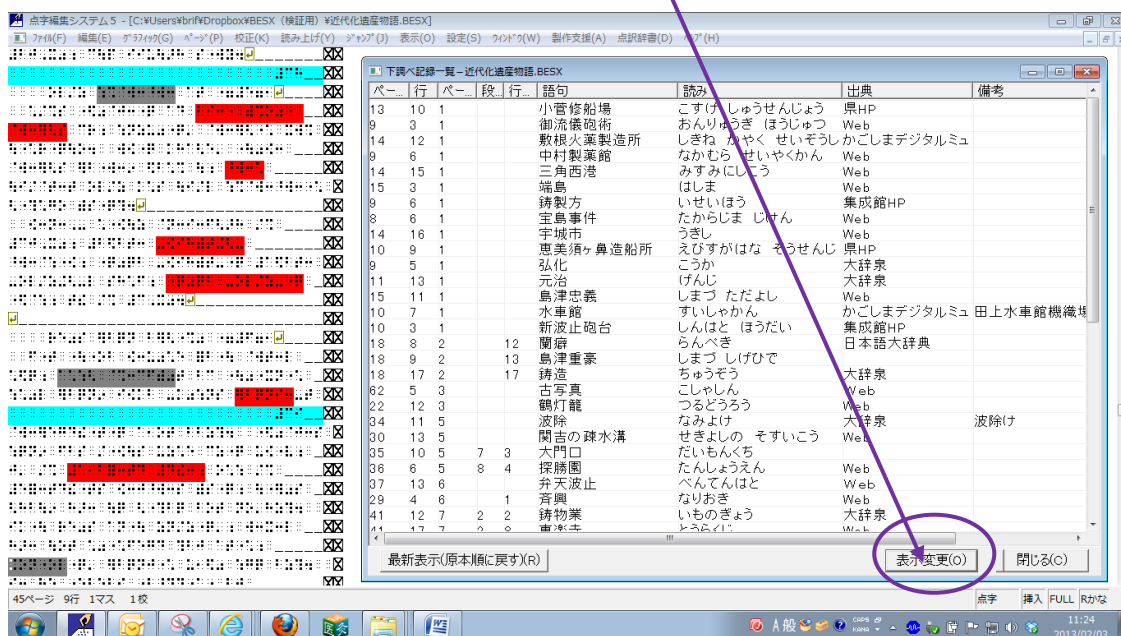
点訳を続けて、調査した語句には、同じようにマークし、下調べ記録を作成していただきます。

## 《下調べ記録の一覧表示》

[製作支援]メニューから[下調べ記録一覧]を選ぶ。



下のように[下調べ記録一覧]画面が表示されます。(先に[製作支援]で設定した状態です。)項目を変更したい場合は、[表示変更]から、[製作支援]の設定画面にいくことができます。



下調べ記録を作成しながら点訳を進めて、点訳が終了。

データを保存します。

※下調べ記録の細かい説明は BESX のマニュアルを参照してください。ここでは基本的なことだけを書き出します。

### (5) 名前を付けてファイル保存

[ファイル]メニューより[名前を付けて保存]を選びます。

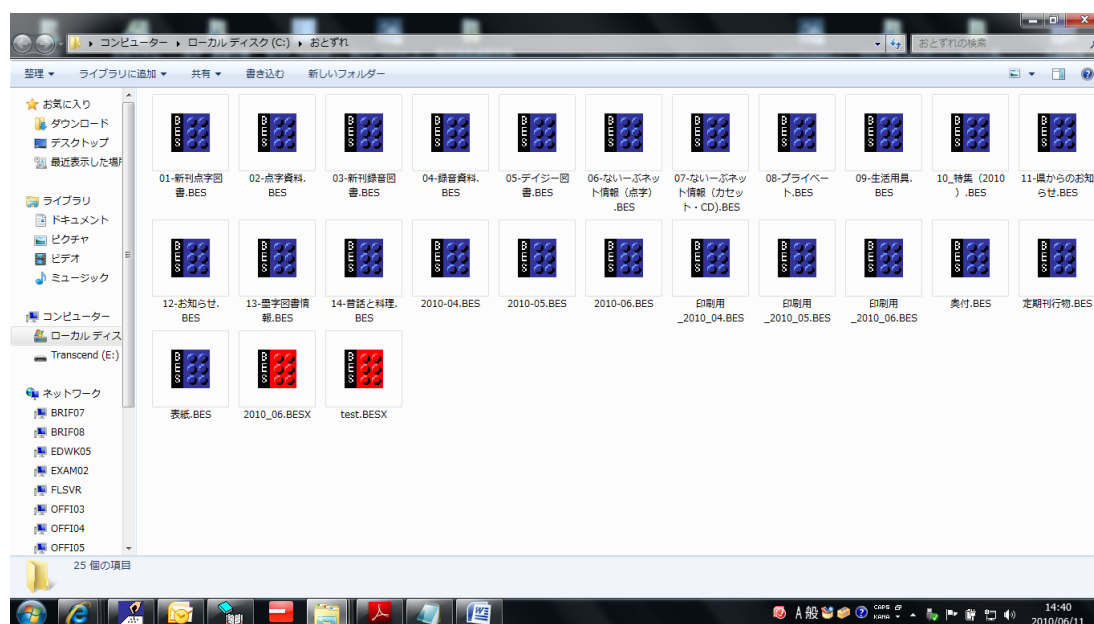
ファイル保存ダイアログが表示されます。

リストボックス[ファイルの種類]より【校正情報つきBESファイル (\*.BESX)】を選んで[保存]します。

※一番上が【校正情報つきBESファイル (\*.BESX)】です。その下が[BESファイル (\*.BES)]になります。

BESXファイル形式で保存され、点字編集画面のタイトルバーにファイル名が表示されます。

保存したフォルダなどを見ると、赤いアイコンのBESXが保存されたのがわかります。

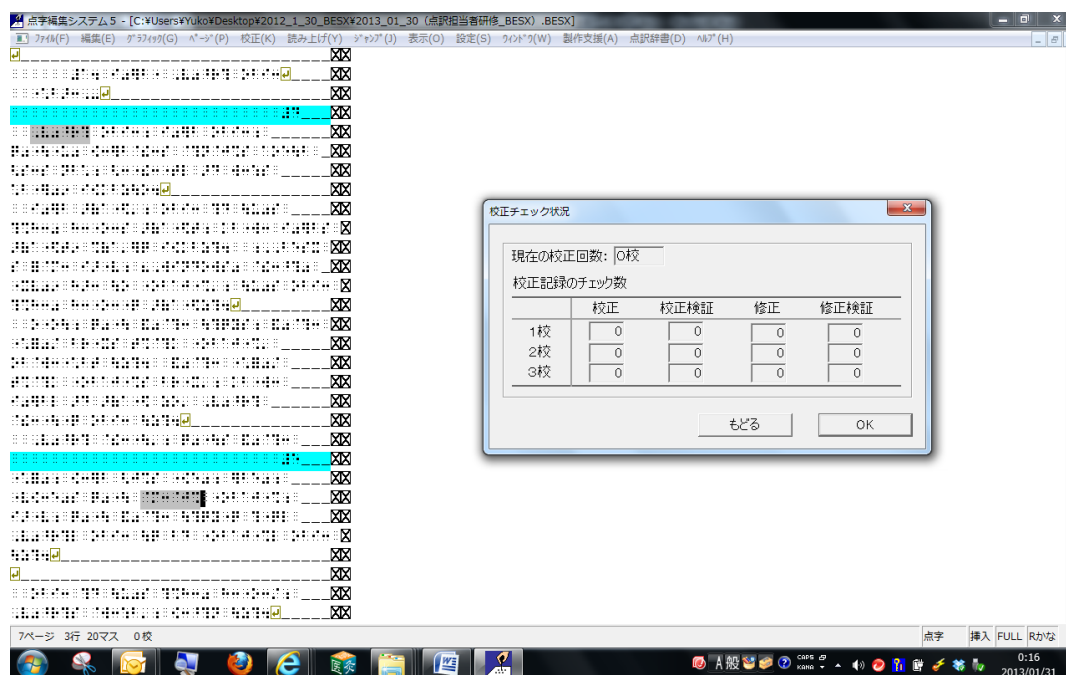


### (6) ファイルを閉じます。

[ファイル]メニューより[閉じる]を選んで、ファイルを閉じます。

閉じるときには、校正チェック状況が表示されます。

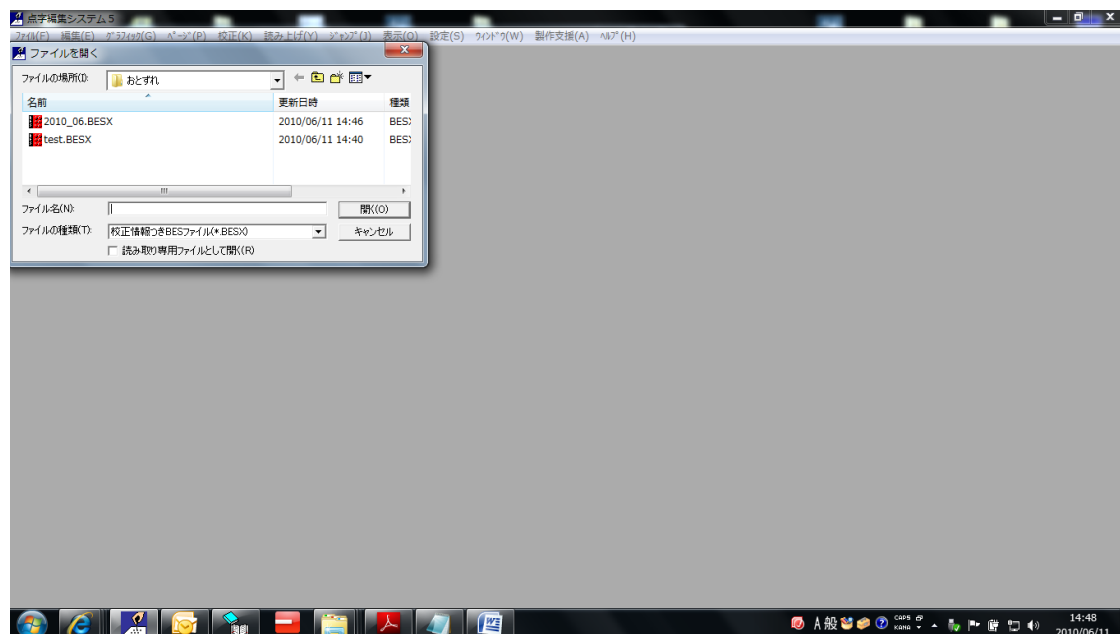
今は、まだ点訳のみで校正記録がありませんので、すべて[0]と表示されています。



OKを押して終了します。

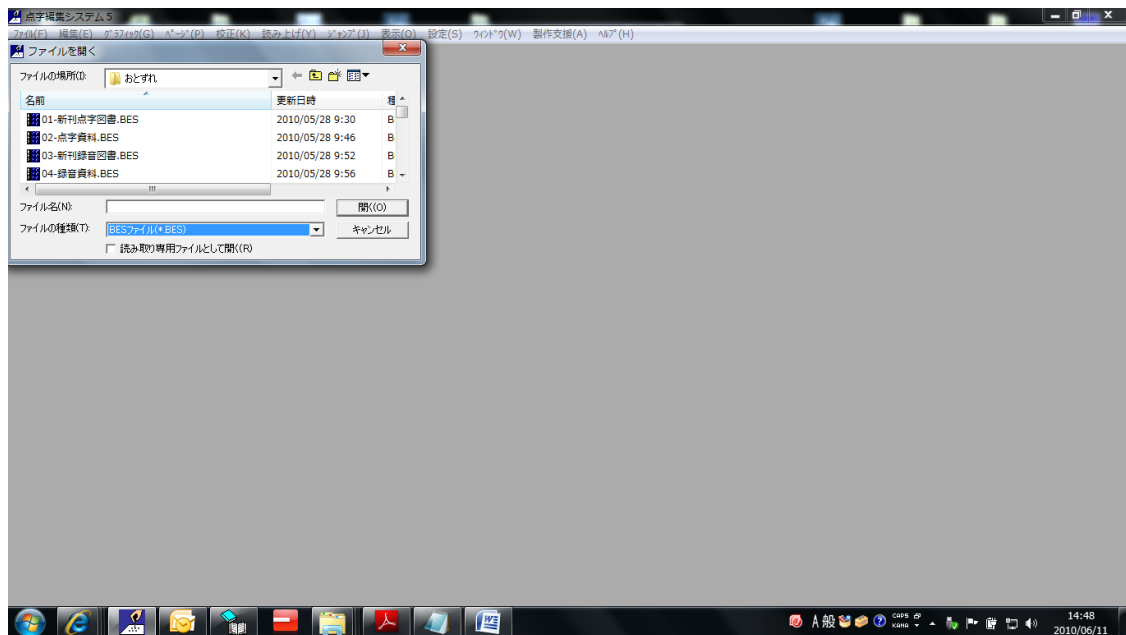
### (7) ファイルを開きます。

[ファイル]→[開く]からファイルを開こうとすると、

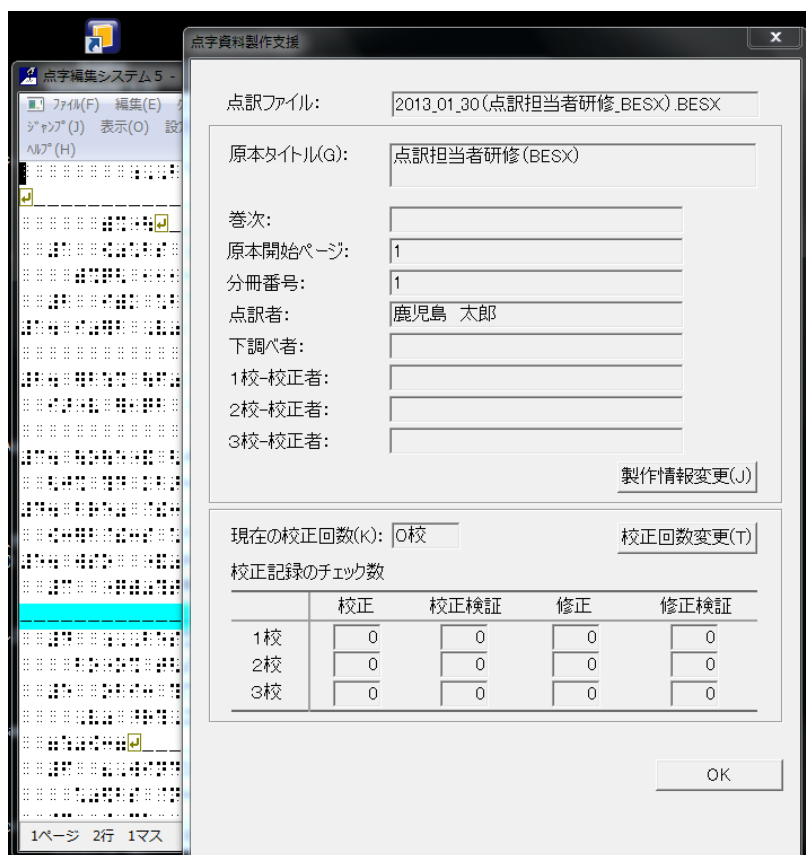


のように、BESXファイルだけを表示させます。BESファイルを開きたいときには、ファイルの種類でBESを選択してください。





BESX ファイルを開く時に、下のような[点字資料製作支援]画面が表示されます。  
点訳を始めるときに入力した、このファイルのみの情報です。



OK を押すと、点字編集画面になります。  
点訳を続けていきます。

## 4. 校正をします

自己校正ではなく、点訳者とは別な方による校正のときに使う機能です。

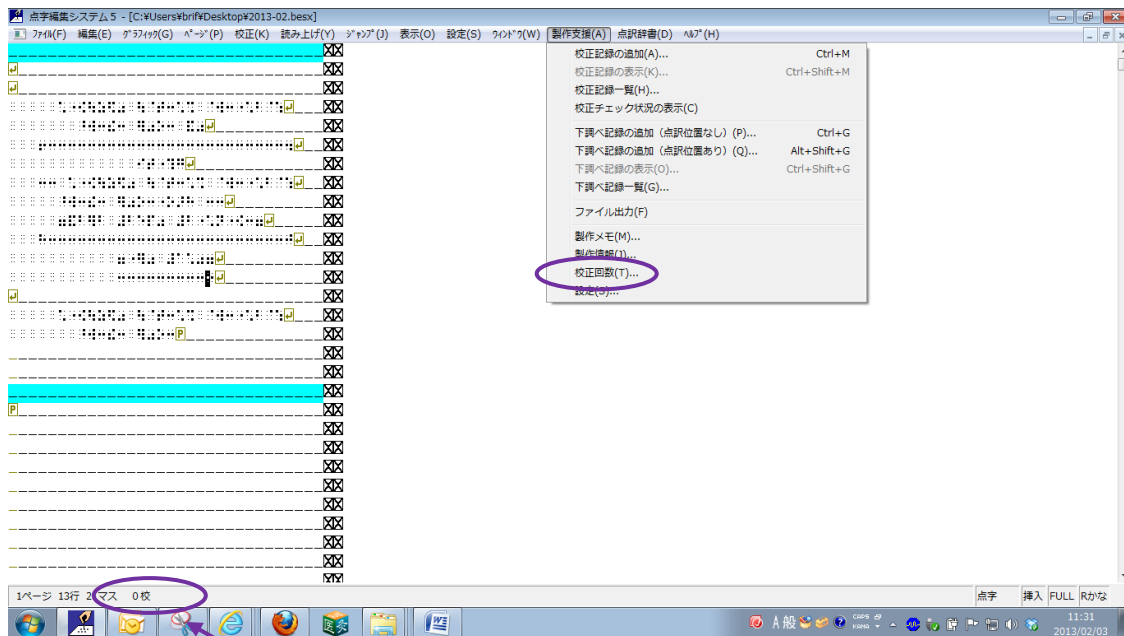
1校から3校まで記録することができます。

### (1) ファイルを開きます

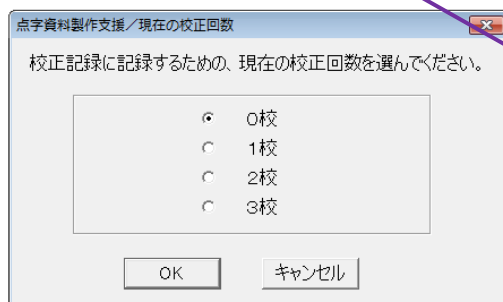
BES ファイルのままだと[製作支援]のメニューが表示されません。名前をつけて保存でファイルの種類を[BESX ファイル]として保存してください。[製作支援メニュー]が表示されます。

### (2) 設定 (現在の校正回数)

[製作支援]メニューから[校正回数]を選びます。



下のような[現在の校正回数]ダイアログが表示されます。



現在の校正回数をチェックして、[OK]を押して[現在の校正回数]画面を閉じます。

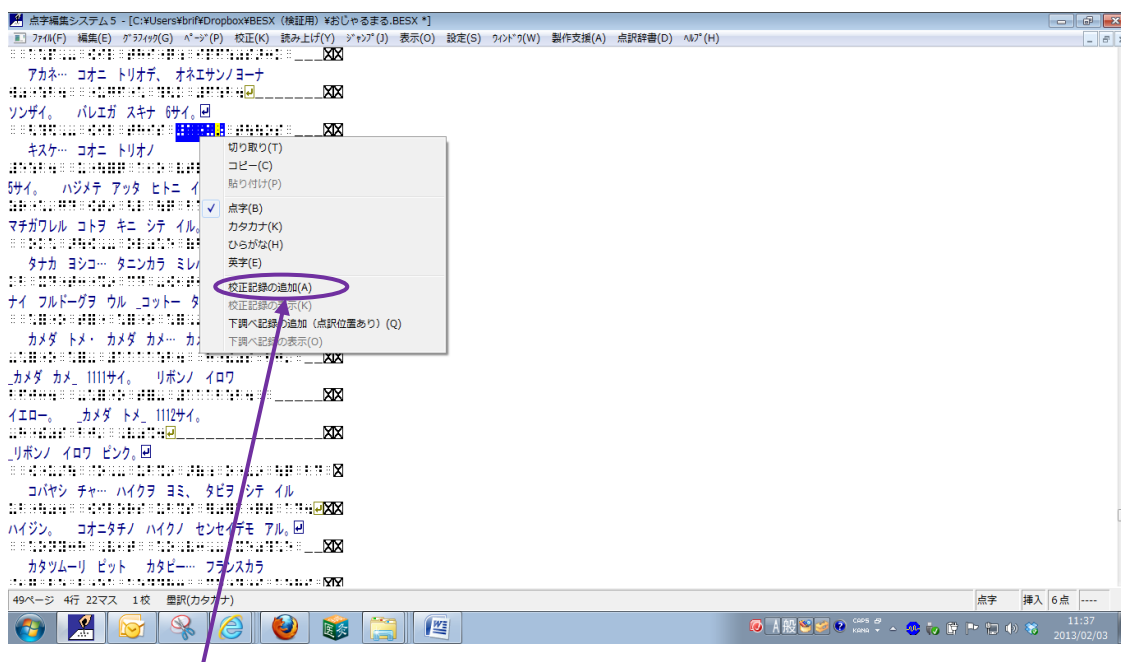
※0校のときは校正記録の追加はできません。

※点字編集画面の画面下 (ステータスバー) に現在の校正回数が表示されます。

### (3) 校正記録の追加

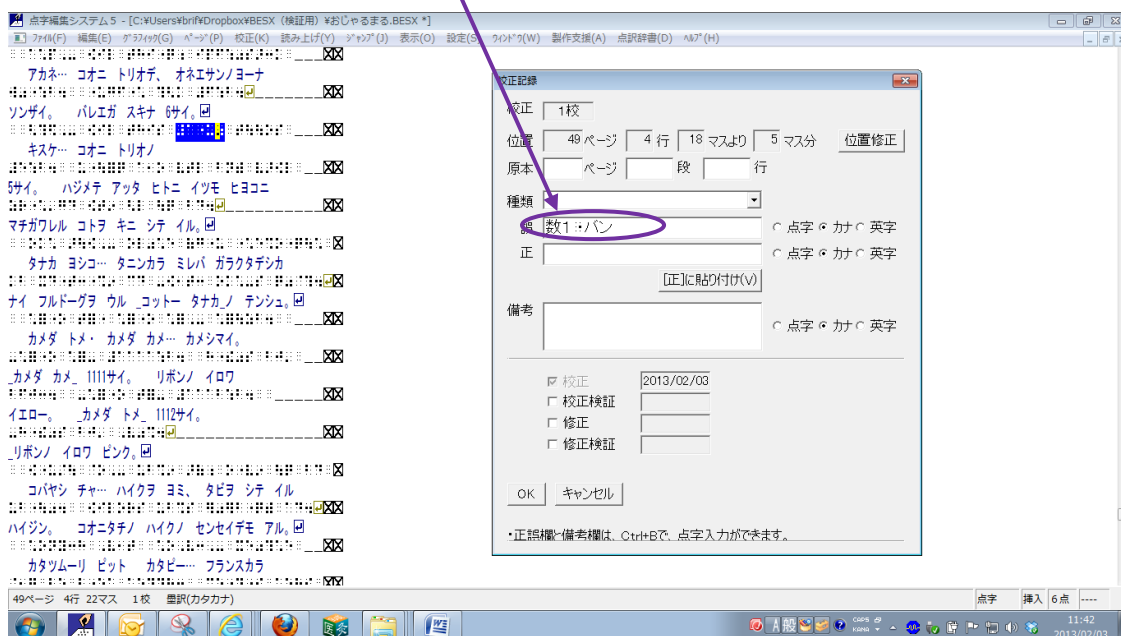
サンプル画面では「1バン」を「イチバン」と校正しようとしているところです。

①点字編集画面上の校正しようとしている個所を範囲選択し、右クリックしてメニューを表示させます。



②[校正記録の追加]を選びます。

([誤欄]に範囲選択した点字データが入力されています)

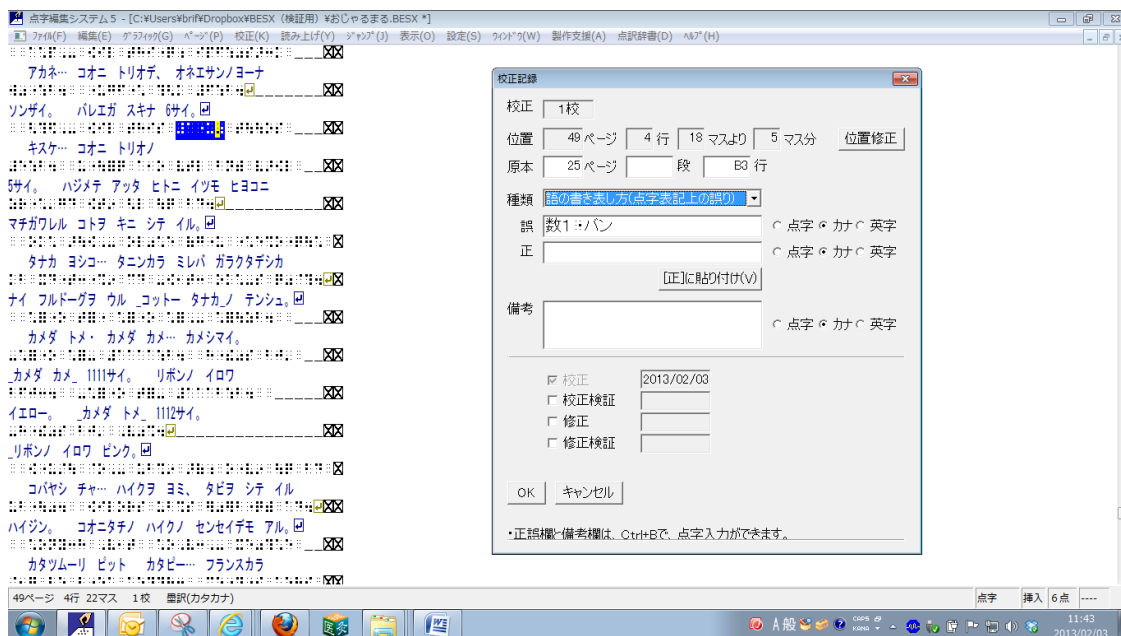


※表示は[設定]で「カナ」になっています。

③ 原本ページ数・行数などを入れます。

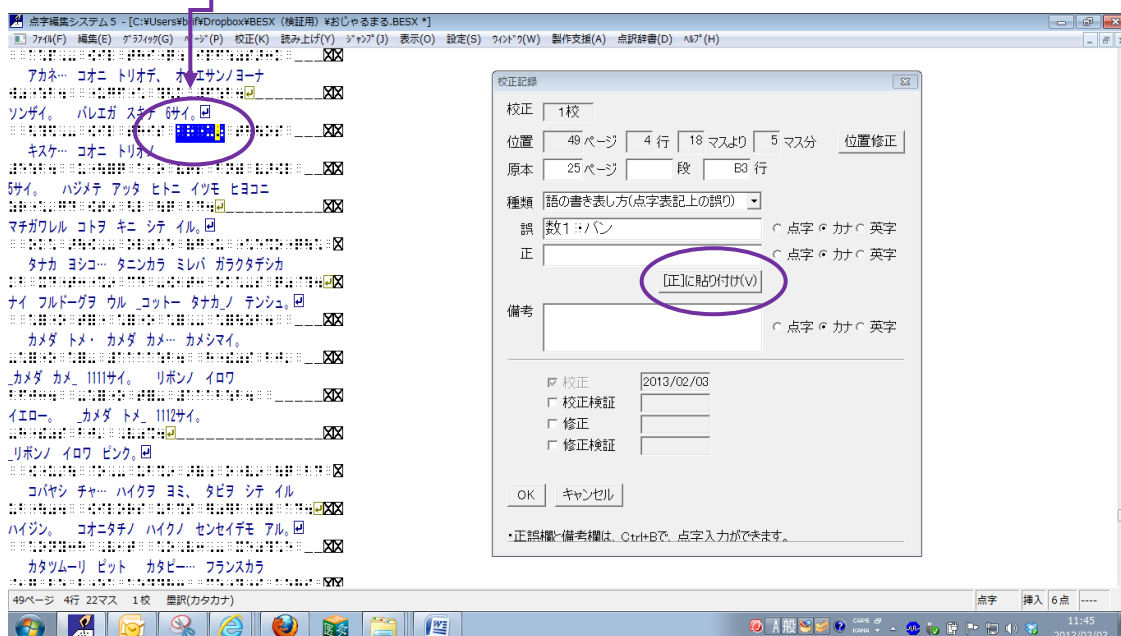
(「B3」は「後ろから3行目」を示します)

④ 間違いの種類を選択します。

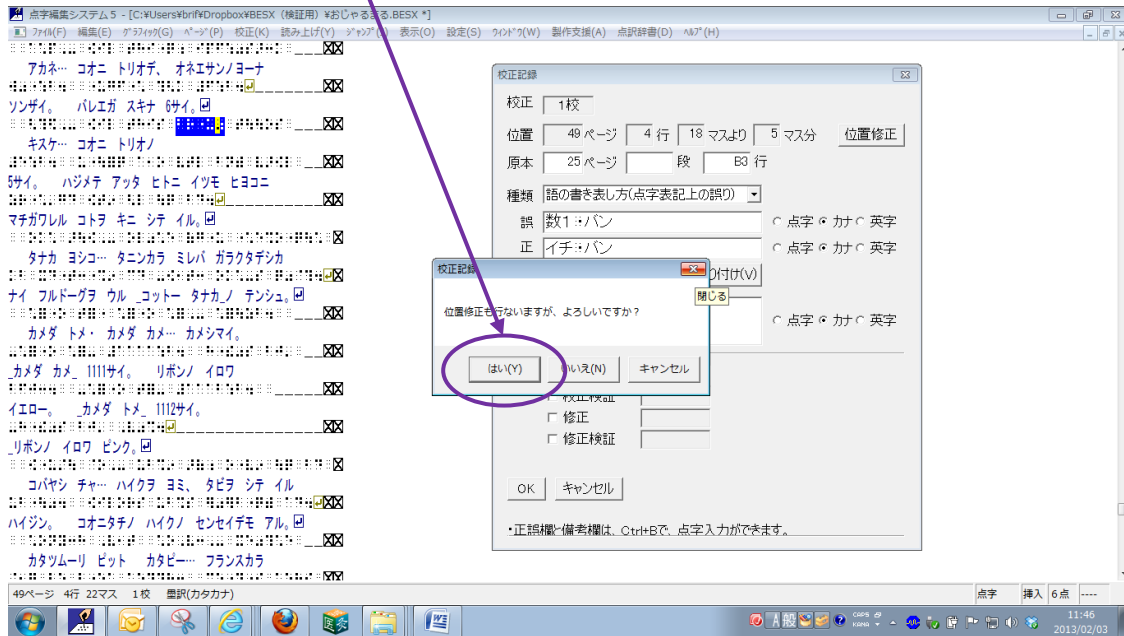


⑤ 点字編集画面で校正します。

⑥ 校正した箇所を範囲選択します。

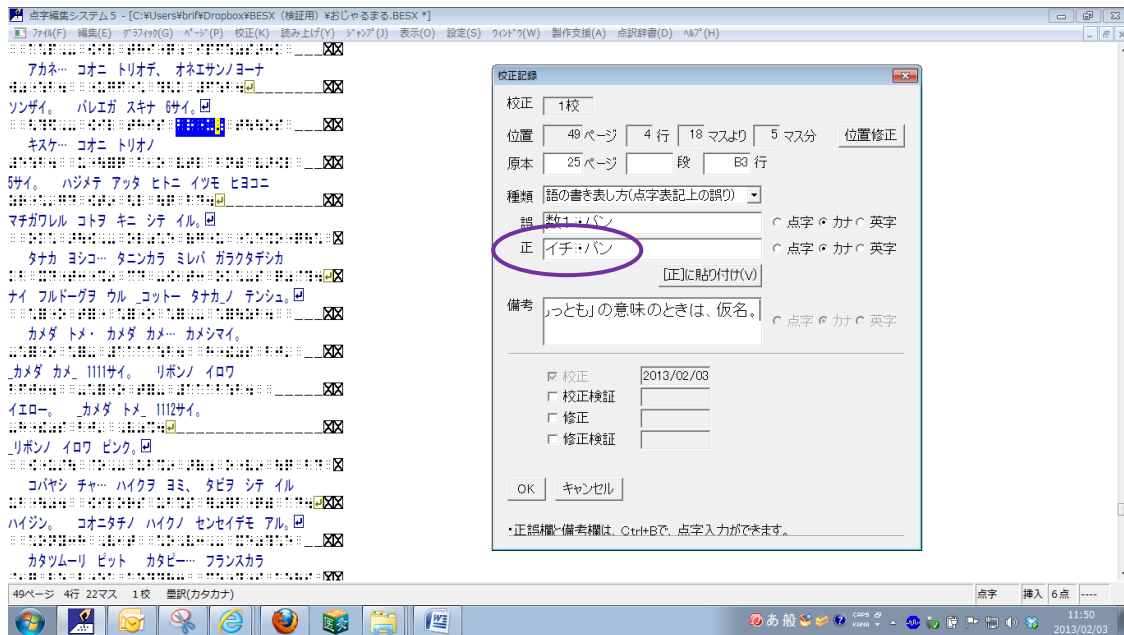


⑦[[正]に貼り付け]を押すと、「位置修正を行いますか、よろしいですか?」というボックスが表示されます。[はい]を押します。



⑧[はい]を押すと、[正]欄に校正された点字が貼り付けられます。マークの位置は、点字編集画面でマークした箇所になります。

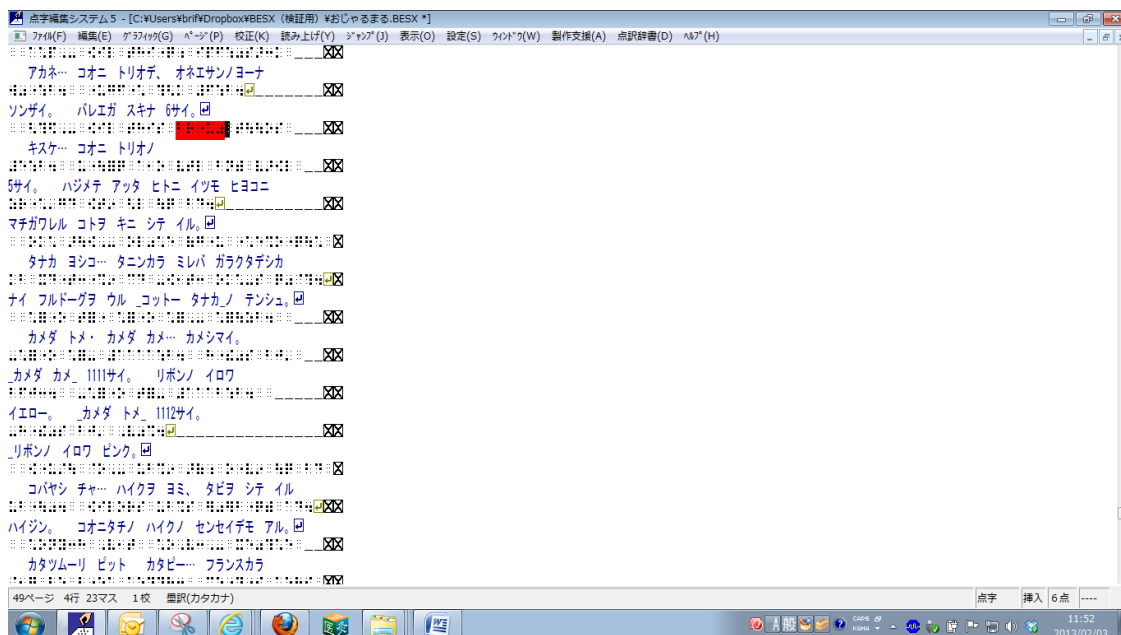
※「カナ」表示は画面上の表示を変えただけで墨訳ではありません。濁点などはそのまま点で表示されます。



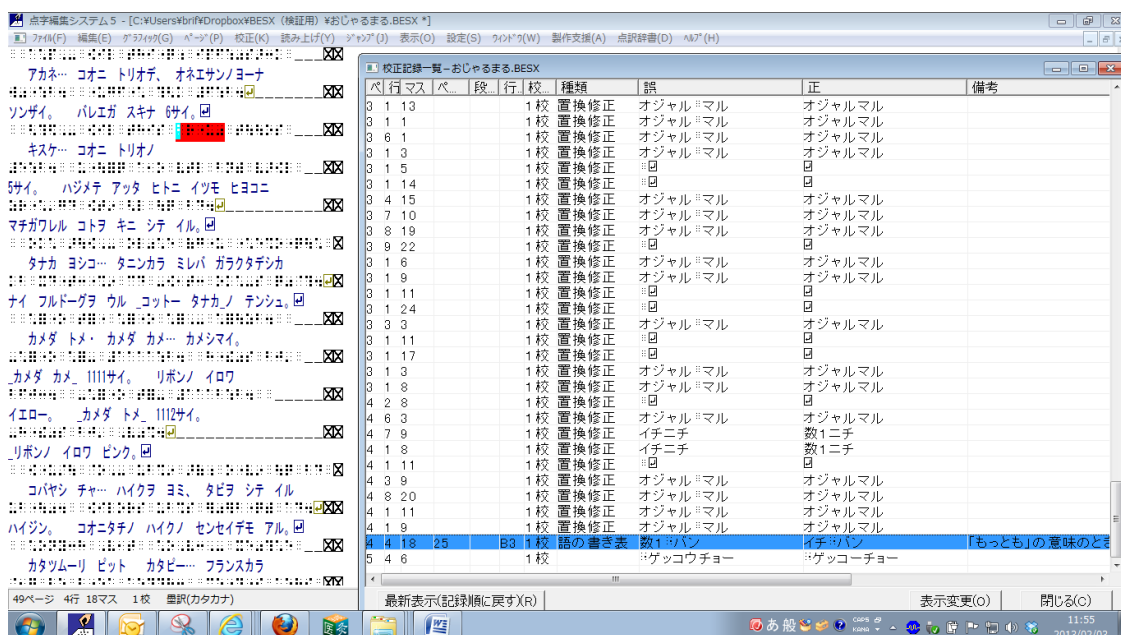
⑨必要に応じて[備考欄]を入力します。

⑩ [OK]を押します。

校正記録を付けた箇所が、赤色になります。



「校正記録一覧」を表示させると以下のようになります。



☆一括置換した箇所に校正記録をつけることができます。

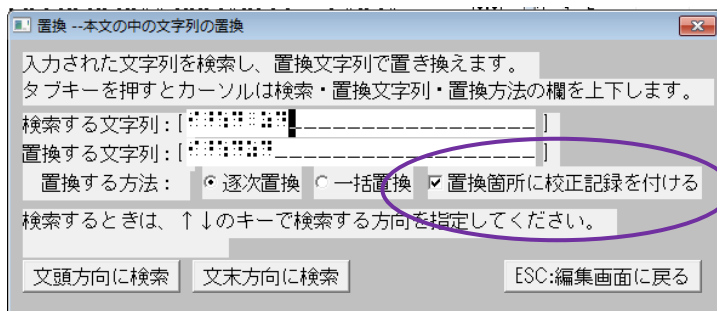
上の校正記録一覧に「置換修正」という種類が表示されています。

一括置換した箇所に校正記録を付けた結果です。

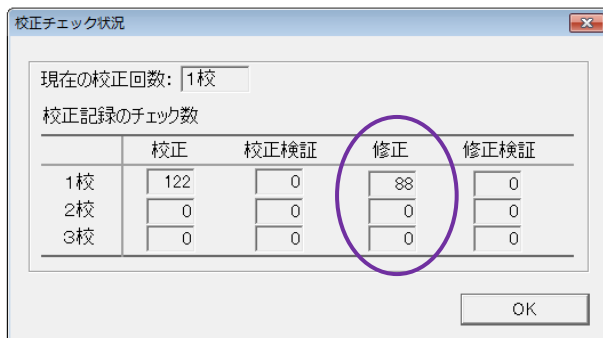
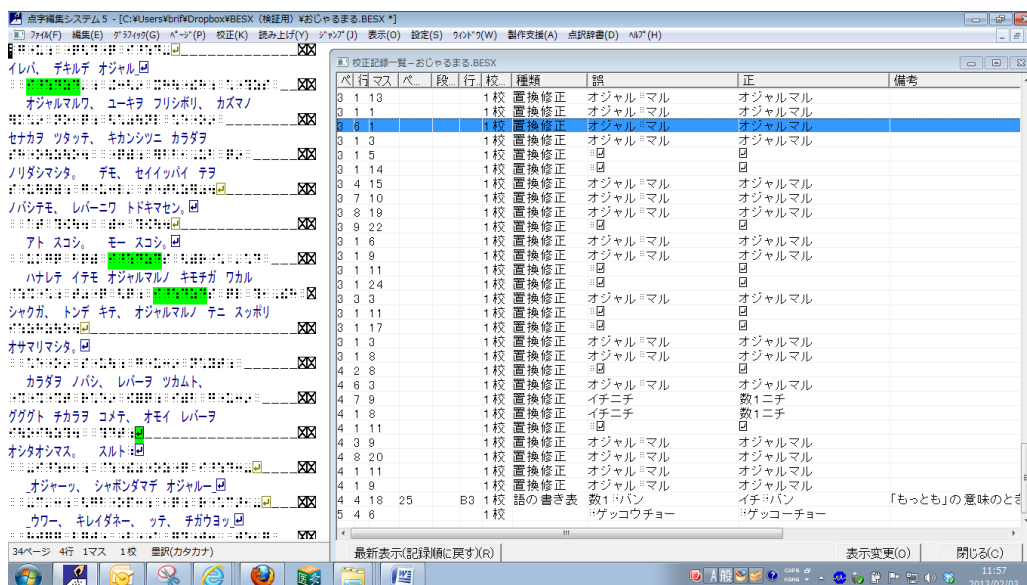
**注意!!**

**[元に戻す]**では校正記録は元に戻りません！ 一括置換したものを**[元に戻す]**と、点字編集画面は元に戻りますが、校正記録は残ります。一括置換で校正記録を残すときは注意してください！！

一括置換するときに、**[置換箇所]に校正記録を付ける**にチェックを入れます。



チェックを入れて一括置換すると、以下の用に緑色にマークされます。校正記録一覧では、「置換修正」と表示されます。



「校正チェック状況」では、**[修正]**の欄に一括置換された数が表示されます。  
 ([修正] = [一括置換]と読み変えてください。)

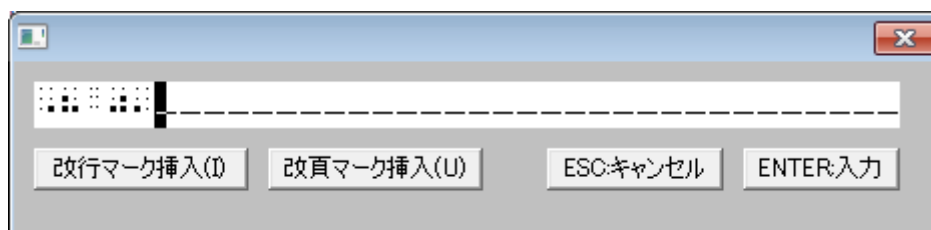
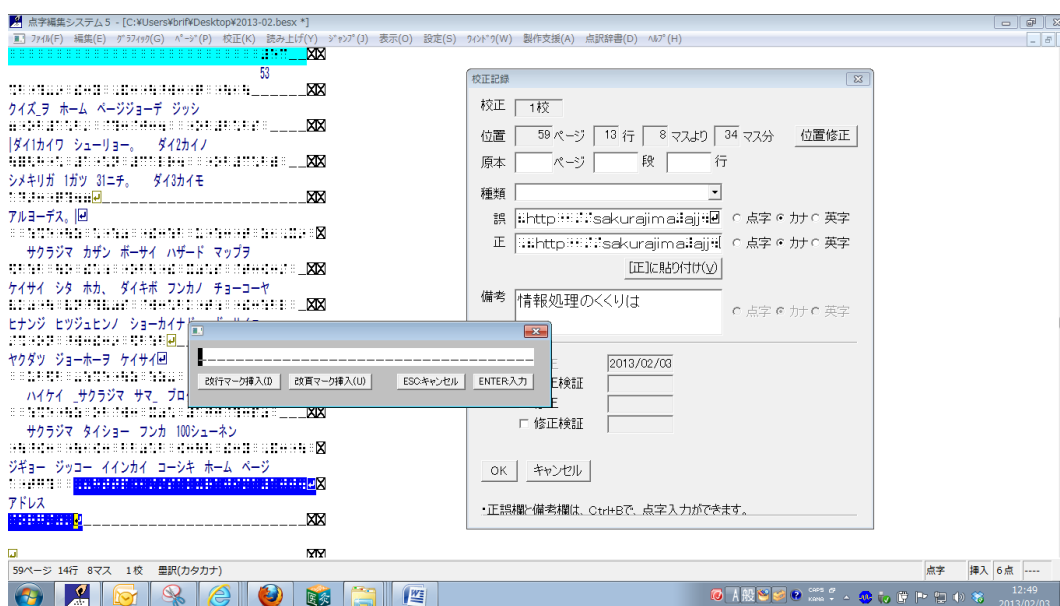
## ☆校正記録には点字入力ができます。

校正記録の[誤]欄・[正]欄・[備考]欄には点字入力ができます。

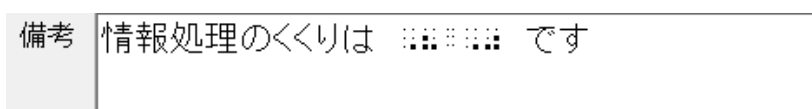
入力したい箇所にカーソルを合わせ、[CTRL+B]で点字入力画面を開きます。

開いたボックスに6点入力し、[ENTER]とすると、カーソルが置かれていた箇所に点字入力されます。記号類など、点字で書き込みたいときに便利です。

たとえば備考欄に情報処理の囲み記号を書きたいとき、備考欄にカーソルを置き[CTRL+B]で点字入力画面を開き、点字入力します。



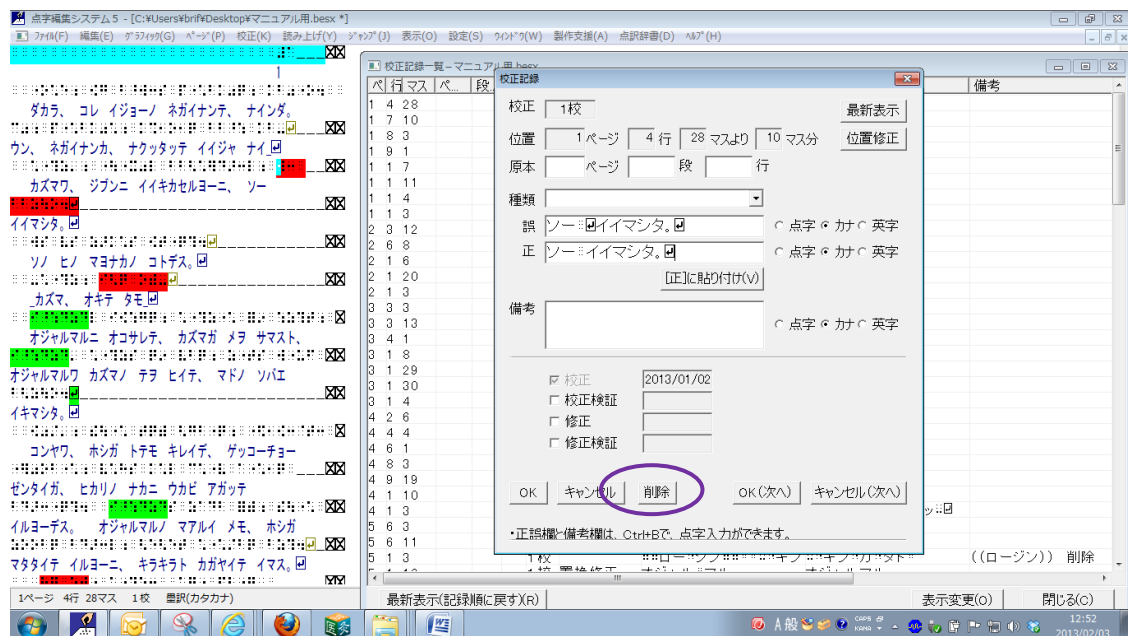
[ENTER]で備考欄に点字が入力されます。



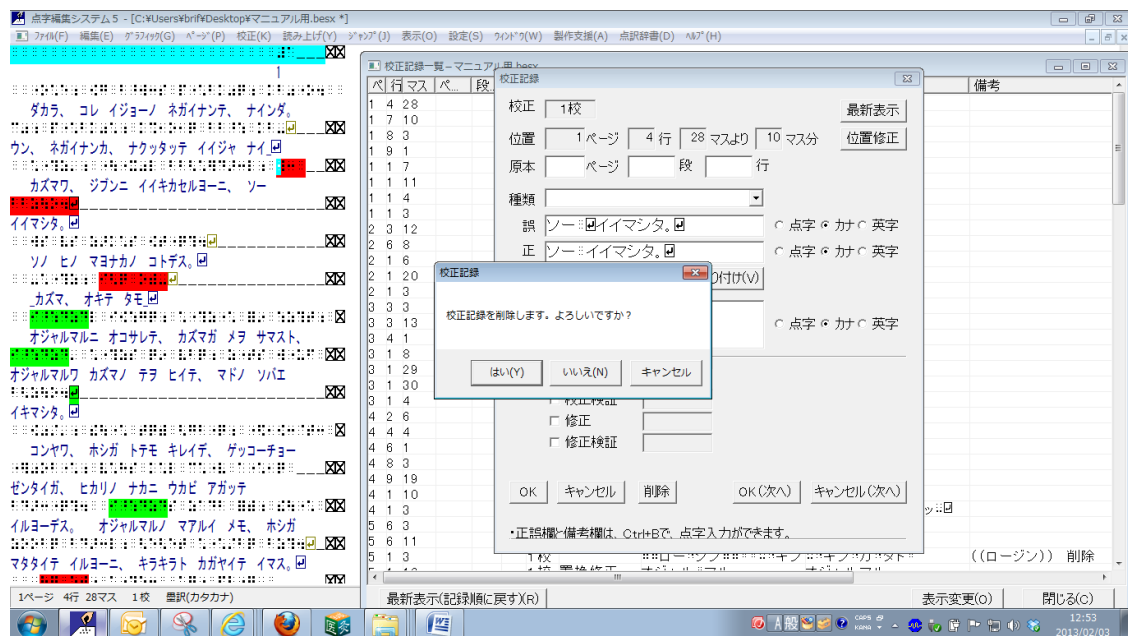


#### (4) 校正記録の取り消し

校正記録を取り消したいときは、[校正記録]画面を表示させ、[削除]ボタンを押します。



「校正記録を削除します。よろしいですか?」というメッセージが出ます。

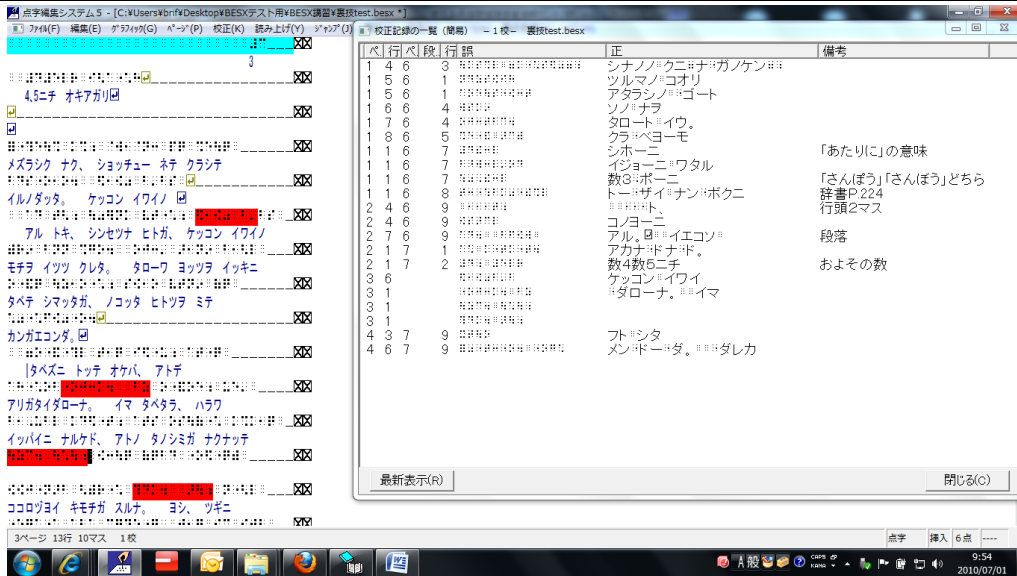


「はい」を押します。

校正記録が削除され、一覧からも削除されています。点字編集画面の赤いマークも消えています。が、修正した点字データはそのままだになっていますので、必要に応じて編集画面から修正してください。

## 《校正の際の約束事》

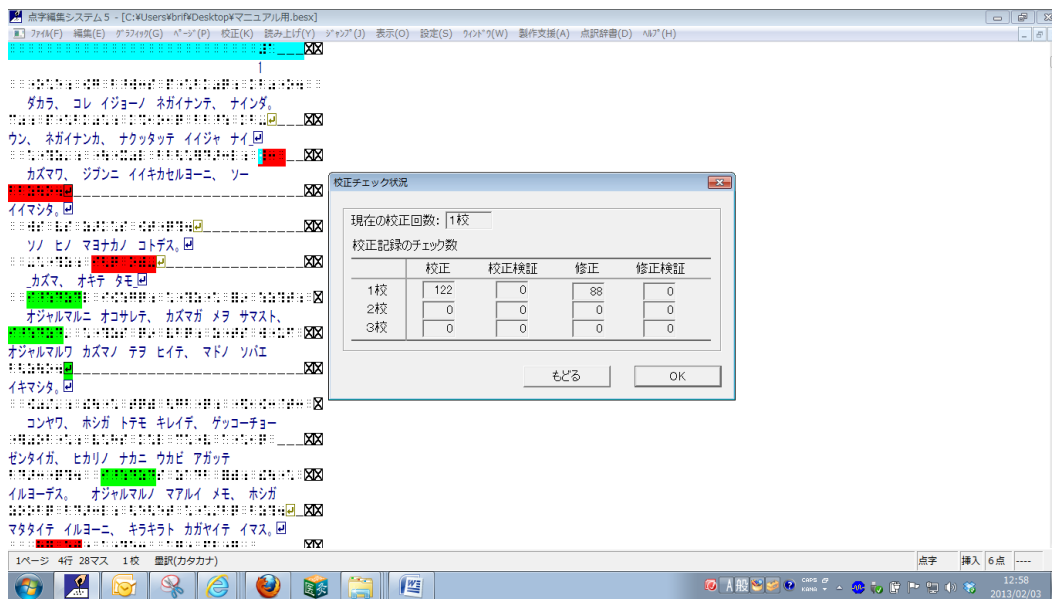
校正表で[誤]欄にのみ記入があり、その他の欄が空欄になっている校正は、「以下同じ」ということで、「前に出てきた間違いと同じ間違いを修正した箇所」とご理解ください。(一括置換以外の同じような間違いの場合です)



## 5) ファイルを上書き保存します。

[終了]とすると、校正チェック状況が表示されます。

[校正]の欄に校正件数が表示されます。一括置換されたものがあれば、その数が[修正]の欄に表示されます。その他の項目は[0]のままです。



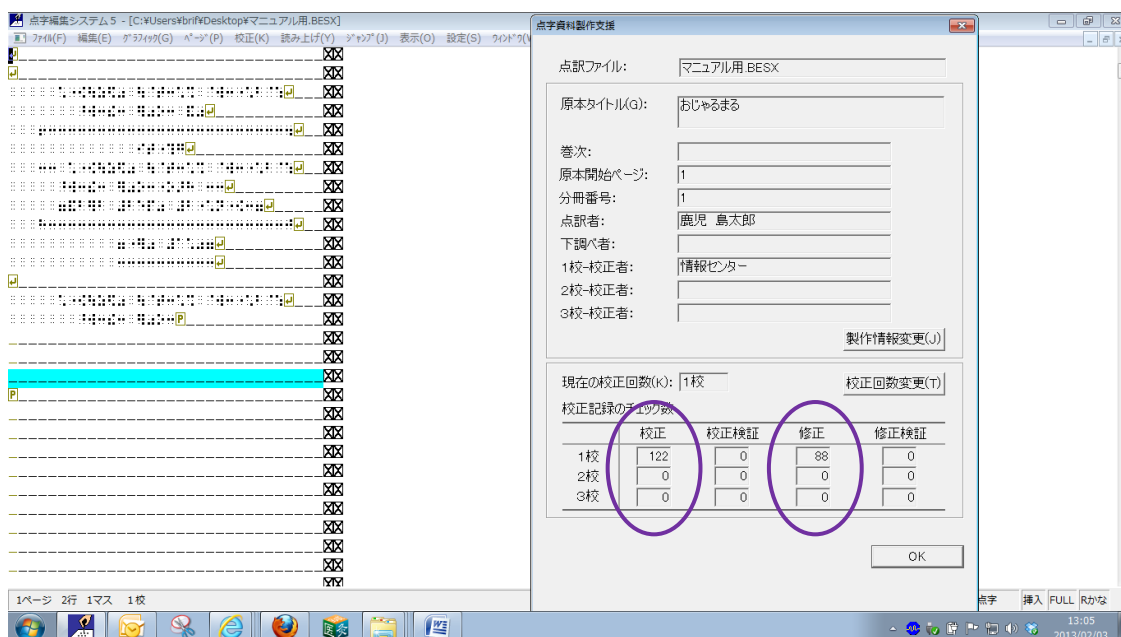
[OK]を押すと終了します。

以上で校正が終わりです。

## 5. 校正が戻ってきたら・・・

### (1) ファイルを開きます。

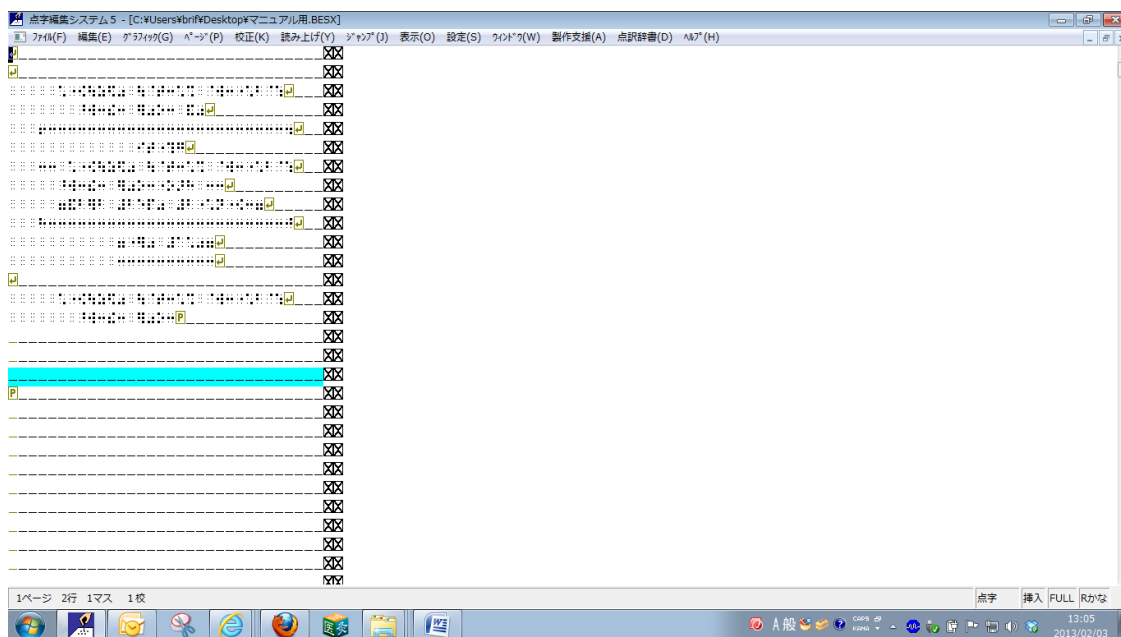
点訳者に校正が戻ってきたら[ファイル]→[開く]から開くか、または、ファイルをダブルクリックして開いてください。



[点字資料製作支援]の画面が開き、製作情報と校正情報が表示されます。

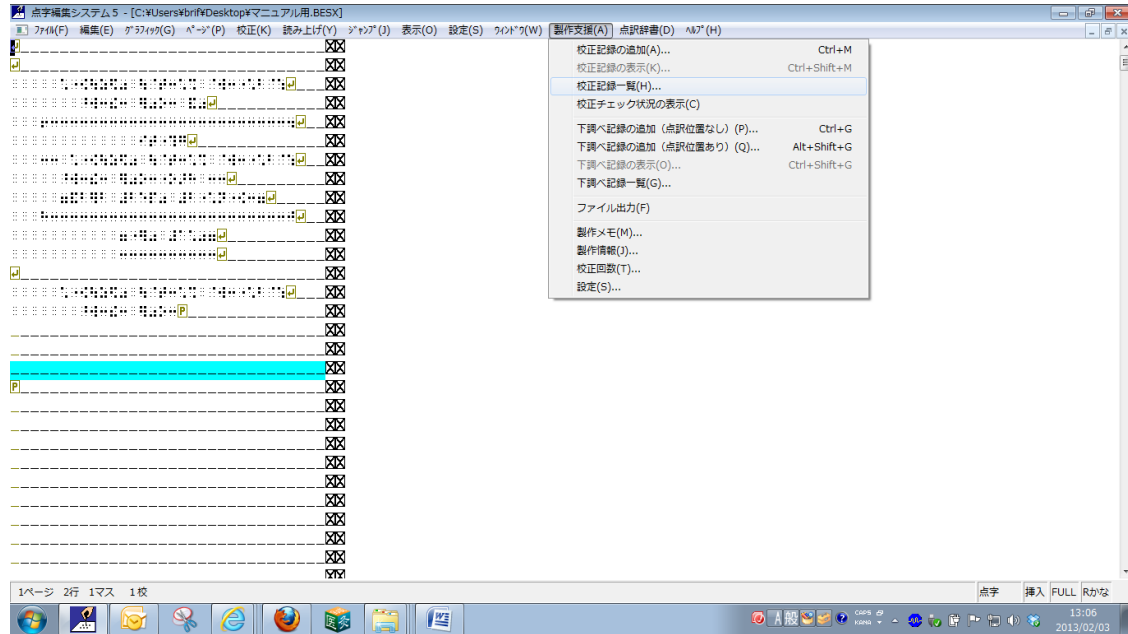
[校正]の欄が校正数、[修正]の欄は一括置換数です。

[OK]を押すと、ファイルが開きます。

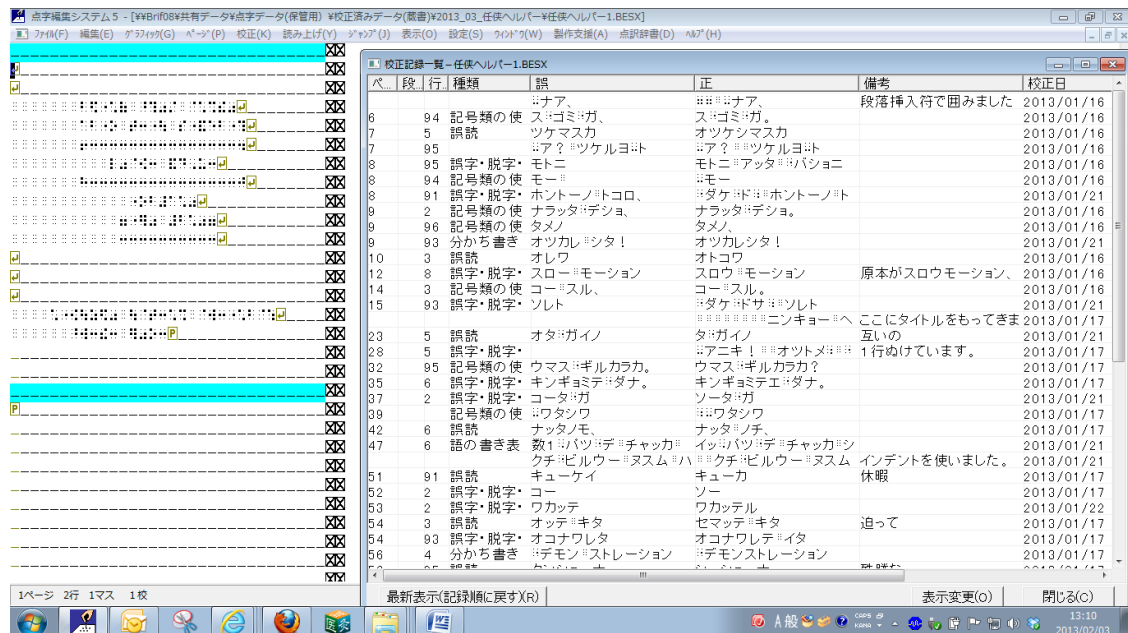


## (2) 校正表を表示させます。

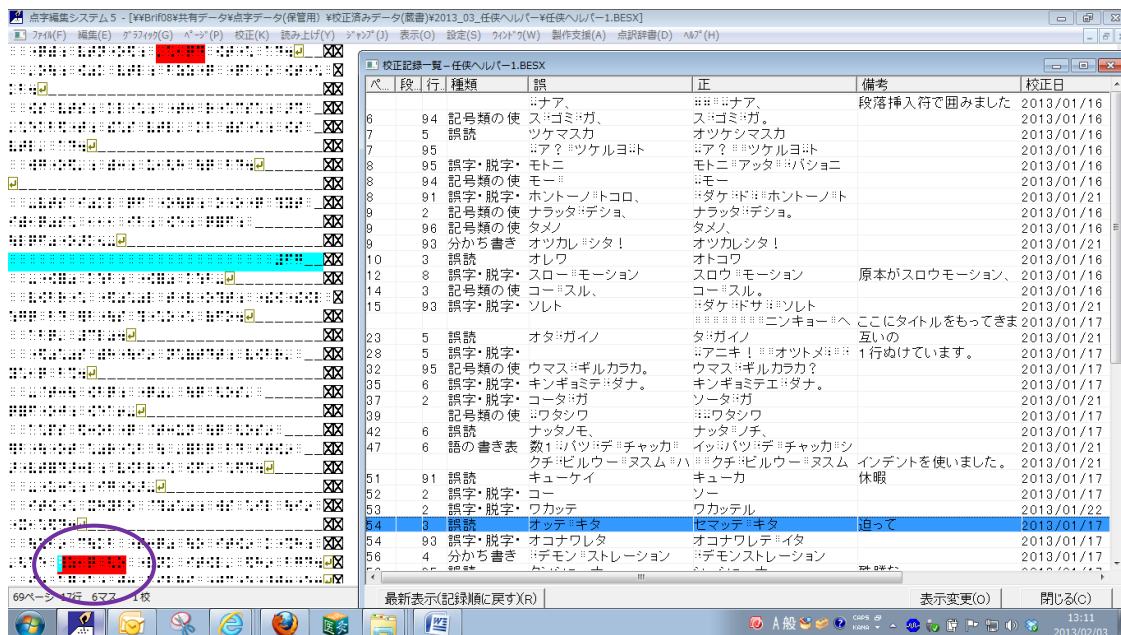
[製作支援]→[校正記録一覧]を選択します。



校正表が表示されます。

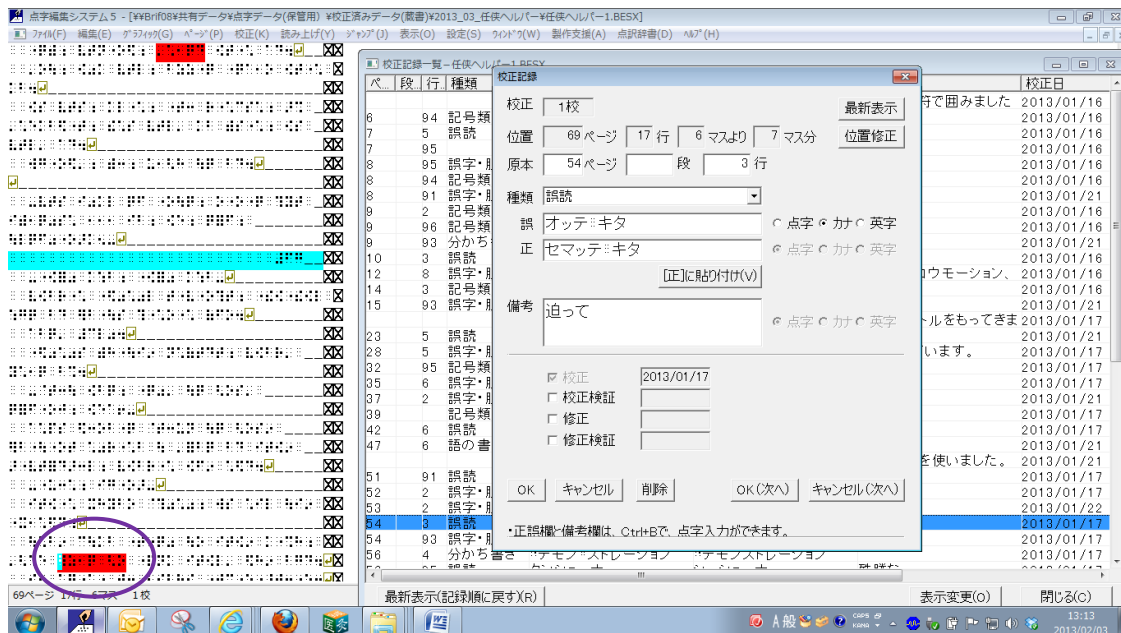


校正表の行をクリックすると、その行の校正個所にジャンプします。



必要に応じて、校正記録を確認してください。

一覧の[行]をダブルクリックすると[校正記録]が表示されます。



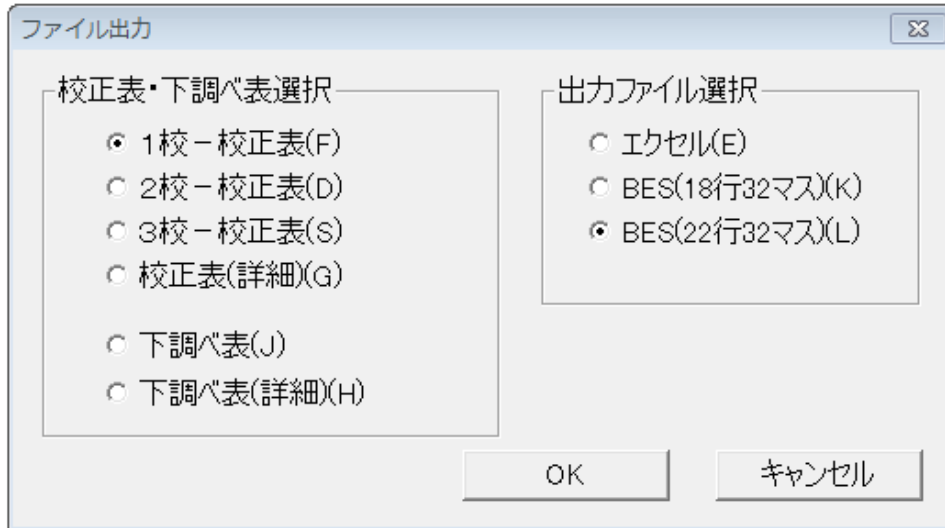
## 6. 校正表を印刷する

校正表・下調べ表をそのまま印刷できるようになっています。

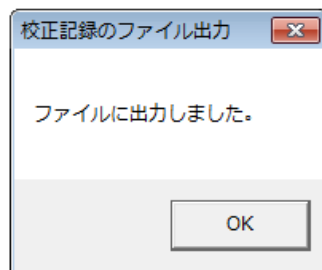
※パソコンに[エクセル]が入っていないとできません！！

[製作支援]→[ファイル出力]を選びます。

出力させたい校正表にチェックを入れます。



ファイル名は自動的に「点字データのファイル名（1校）」とつきますので、特に変更する必要がない限り、そのままOKです。保管場所を決めて保存します。



エクセルデータとして保存されます。

左画面が表示されますので、必ず[OK]を押してください。  
出力には少々時間がかかります。

ダブルクリックすると、エクセルデータが開きます。いらぬ部分にも罫線が引かれていますが、削除するとトラブルを起こしますので、エクセルで修正等せずに、そのまま印刷してください。

[〇校一校正表]を開くと以下のようになります。

点訳		原文		誤	正	備考	修正	検証
頁	行	頁	行					
3	2			-ナア、	== -ナア、	段落挿入符で囲みました。		
6	8	6	94	ス+ゴミ+ガ、	ス+ゴミ+ガ。			
7	6	7	5	ツケマスカ	オツケシマスカ			
7	15	7	95	-ア? :ツケルヨト	-ア? :ツケルヨト			
9	8	8	95	モトニ	モトニアッタ+ツケルヨト			
9	10	8	94	モ-	-モ-			
9	17	8	91	ホントーノトコロ、	ホントーノトコロ、			
10	2	9	2	ナラッタ+デショ、	ナラッタ+デショ、			

この画面の印刷イメージは下記のようになります。

点訳		原文		誤	正	備考	修正	検証
頁	行	頁	行					
3	2			-ナア、	== -ナア、	段落挿入符で囲みました。		
6	8	6	94	ス+ゴミ+ガ、	ス+ゴミ+ガ。			
7	6	7	5	ツケマスカ	オツケシマスカ			
7	15	7	95	-ア? :ツケルヨト	-ア? :ツケルヨト			
9	8	8	95	モトニ	モトニアッタ+ツケルヨト			
9	10	8	94	モ-	-モ-			
9	17	8	91	ホントーノトコロ、	ホントーノトコロ、			
10	2	9	2	ナラッタ+デショ、	ナラッタ+デショ、			

エクセルの印刷ボタンを押すと、そのまま印刷できます。(A4 サイズです)  
校正が多くなっても、レイアウトは崩れません。

[校正表（詳細）]を出力すると、以下の用になります。  
このファイルは自由に編集できるエクセルデータです。

点訳ページ	点訳・行	点訳・マス	原本・ページ	原本・段	原本・行	校正回数	校正の種類	誤	正	備考	校正日	校正検証日	修正日
3		2	3			94	記号類の使	ス・ゴミ・ガ、	ス・ゴミ・ガ、	段落挿入符で囲み	2013/1/16		
6		6	21	7		5	誤読	ツケマスカ	オツケシマスカ		2013/1/16		
7		15	18	7		95	誤字	ア？ツケルヨ	ア？ツケルヨ		2013/1/16		
9		9	16	8		95	誤字	脱字・形モトニ	モトニアッタ		2013/1/16		
9		10	3	8		94	記号類の使	モー	モー		2013/1/16		
9		17	1	8		91	誤字	脱字・形ホントノトコロ	ホントノ		2013/1/21		
10		2	13	9		2	記号類の使	ナラツタ・デショ、	ナラツタ・デショ、		2013/1/16		
10		18	18	9		96	記号類の使	タメノ	タメノ		2013/1/16		
11		6	20	9		93	分かち書き	オツカレシタ！	オツカレシタ！		2013/1/21		
11		14	3	10		3	誤読	オレワ	オトゴワ		2013/1/16		
15		3	29	12		8	誤字	脱字・形スロー・モーション	スロウ・モーション	原本がスロウモー	2013/1/16		

## 7. 下調べ表を印刷する

下調べも校正表と同じように印刷できます。

[製作支援]→[ファイル出力]から [下調べ表]にチェックをいれて出力してください。

**ファイル出力**

校正表・下調べ表選択

- 1校－校正表(F)
- 2校－校正表(D)
- 3校－校正表(S)
- 校正表(詳細)(G)
- 下調べ表(J)
- 下調べ表(詳細)(H)

出力ファイル選択

- エクセル(E)
- BES(18行32マス)(K)
- BES(22行32マス)(L)

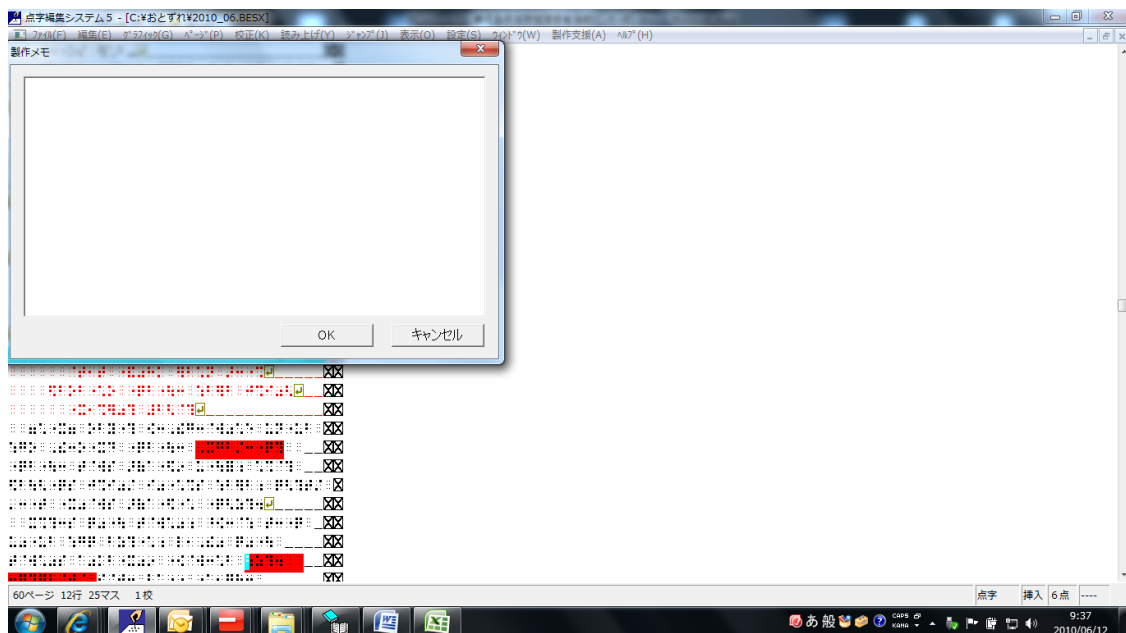
OK      キャンセル



## 8. 製作メモがあります

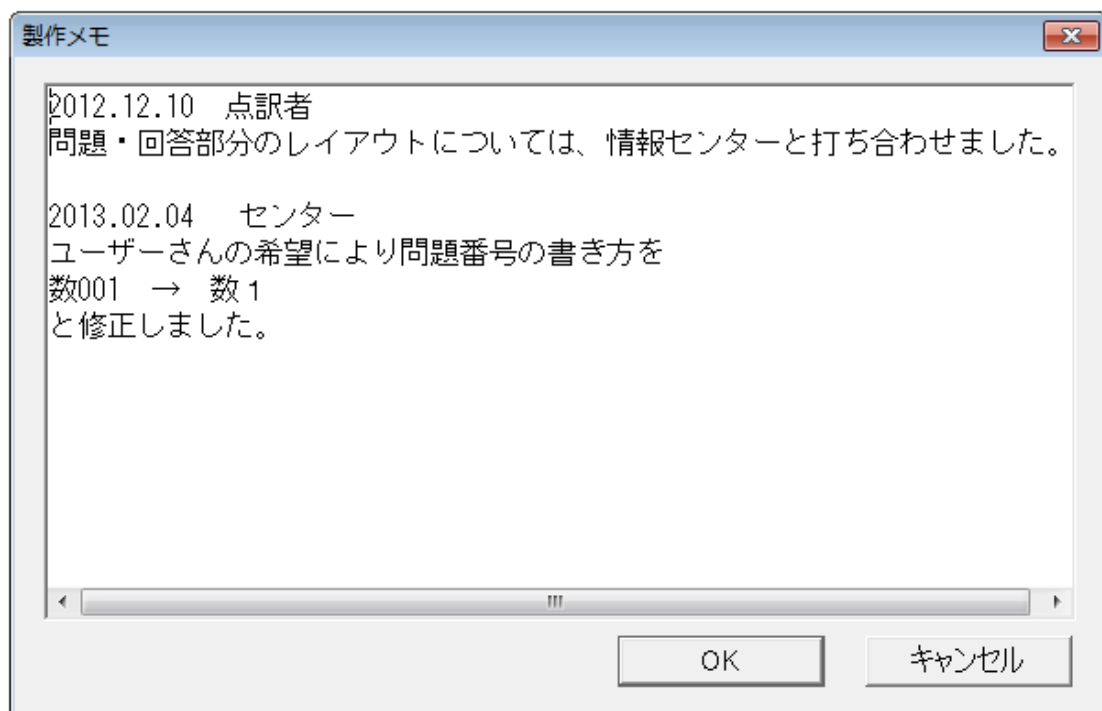
関係者に伝えたいことをメモしておくことができます。

[製作支援]→[製作メモ]を選択すると、[製作メモ]画面が開きます。

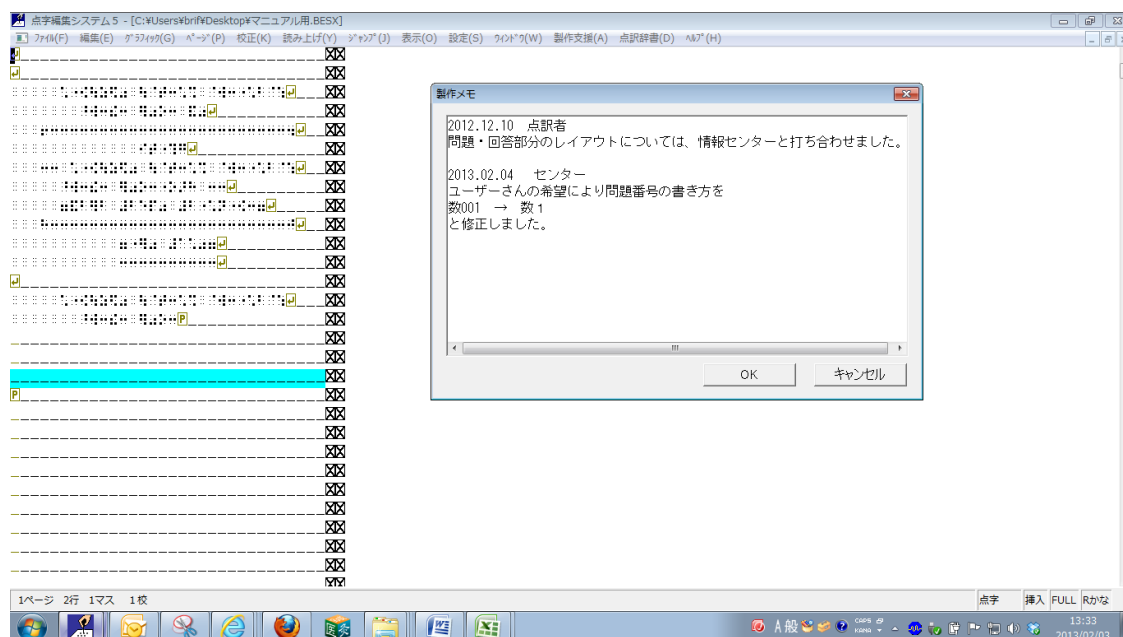


メモ帳と同じです。必要なことを書き込んでください。

たとえば、



というような約束事を点訳者・校正者両方に伝えるときなどに使います。



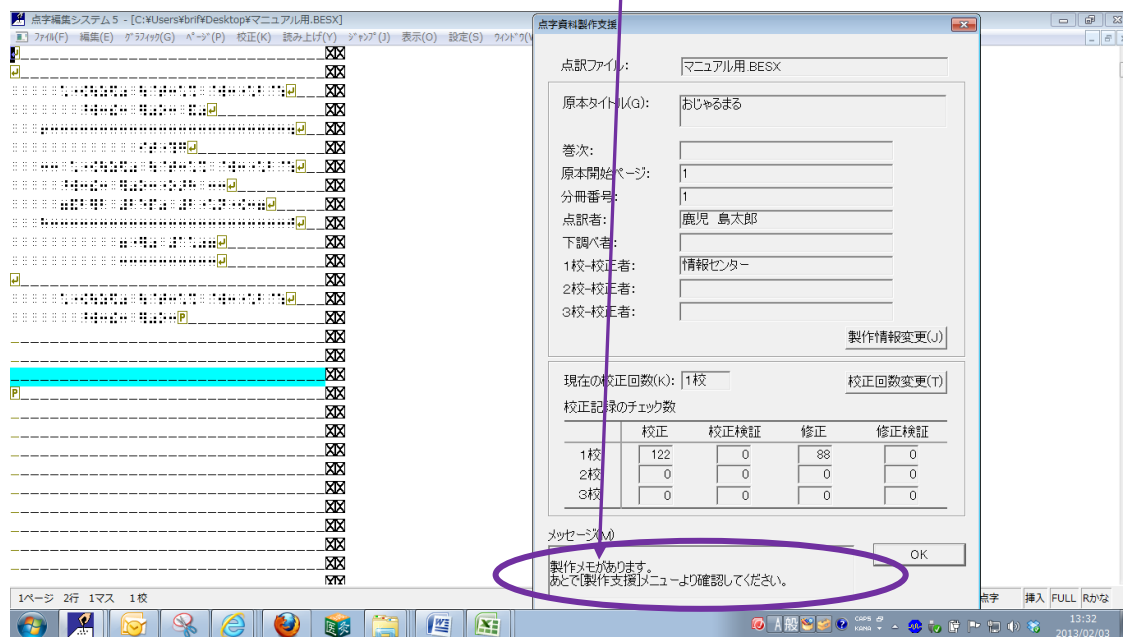
[OK]を押して製作メモ画面を閉じます。

[製作メモ]のある画面を開くと、最初の[点字製作支援]画面の最下行に

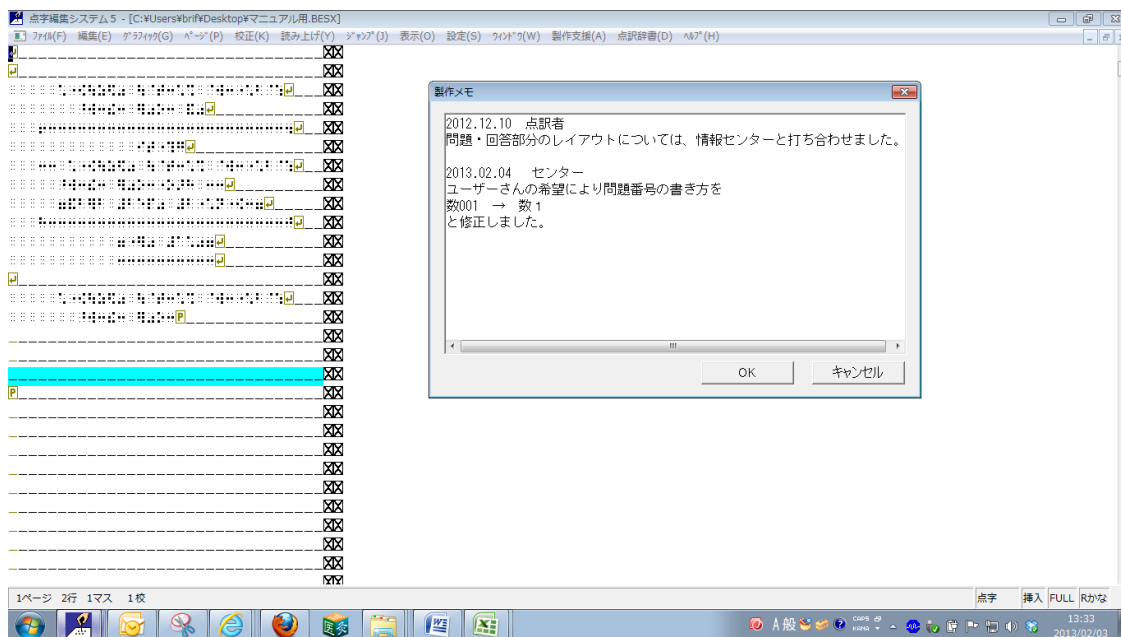
メッセージ：製作メモがあります。

あとで[製作支援メニュー]より確認してください。

と表示されます。



[製作メモ]を確認するには、[製作支援]→[製作メモ]を選択します。  
下記のように表示されます。



製作メモの画面も移動させることができます。  
[製作メモ]と表示されているところにマウスを置いてひっぱってください。  
[OK]で[製作メモ]画面は閉じます。

## 9. 校正記録等の移動は「文書分割」「文書結合」で！！

下調べ記録、校正記録の移動は「文書分割」「文書結合」のみで行います。

「切り取り」「コピー」「部分書き出し」して「貼り付け」としても下調べ記録・校正記録の移動は行えません。

(BESX マニュアルより)

### メモ

- 下調べ箇所を切り取り(Ctrl+X)・貼り付け(Ctrl+V)しても、下調べ記録マークの移動は行えません。

### メモ

- 次の場合、校正情報データのコピーは行えません。
  - [ファイル]メニューの[部分書き出し]
  - 2つの点字編集画面間のコピー&ペースト
- 文書結合／分割によりページまたがりの下調べ記録や校正記録が分断される場合は、エラーメッセージが出ます。

**校正記録等を含む箇所**を別なファイルに移動させたいときは、「文書分割」してから「文書結合」という操作をします。「切り取り」→「貼り付け」としないように注意してください。

校正記録等を含まない場合は問題ありません。移動元・移動先の位置は修正されません。一覧の「最新表示」のボタンを押すと、点字ページ・行数は修正されません。

※切り取ってしまった場合、校正記録だけが残ってしまいます。一覧を確認しながら削除する必要があります。

## 10. まとめ

以上が、鹿児島県視聴覚障害者情報センターにおける、基本的な点訳・校正・校正後のデータの確認の流れです。

BESX2 が持っている機能の詳細については、BESX マニュアルを参照してください。

※このマニュアルは必要に応じて、随時修正していきます。

2013年2月4日

### 【BESX1】

- 1回目修正 2010年7月1日
- 2回目修正 2010年7月27日
- 3回目修正 2010年9月5日（注意追加）

### 【BESX2】

- 初版 2013年2月4日
- 1回目修正 2013年2月27日
- 2回目修正 2013年3月6日（表示設定の変更）